文會雜記

三

服部文庫
イ17
69
3

117
69
3

昌平坂學問所

文會雜記卷之三

備藩　湯元禎之祥識
男明善子誠校

コレヨリ已下モ南郭老師ノ説ナリ

一三才圖會ヲ今時ハ誠ニ天地人三才アラユル繪圖ヲ尽セリト人思フハ沙汰ノカキリナルコト十リ中ニ惜ナル書ニテハナシ大カタハ書物屋ノコシラヘタルト見ユ農書ハ農書ニヨリ銭ノ所ハ泉志ニヨリ人相ノ所ハ人相書ニヨリテロヽリ合セタル物ナリ其内事長クテアシキ所ヲハナヽメテ抜キタリト其仕方散ニ悪シスヘテ中華ニハ杜撰ヲナス人多シ書肆ナトヨリ日本人ヨリハ少文学有ユユ色ニノ作リヲヨコシラヘテ類ヨセナトヲシテ人ヲ欺ク事多キヲソレヲ田舎料簡ニテ

中華ハ何モヨキト心得テヒラ信仰ニカ、ルハ沙汰ノ限リナルコトナリ

一華夷トス中華トスル1日本人ノカロ、シク云ヘキ1ニ非スソレハ日本ヲ次ニシタル詞ナリソレユヱ南郭ノ文ニハ久々ニ華ト書タケトモ大カタハ華トハ書ス海外ナト書テヨケリ天ノタツル所大皐千ト漢ニ送レル書ニカキタルハ誠ニ見識アル1ナリ日本ニテモソノ如ク心得ヘキ1ナリ大カタハ天ノタツル所大皐千ナト書タルハ中行説カ教ナラメト思ハルトナリ

一假名ノランナトノ人トハ子タルハ已前日本ノ古書ヲセンキスル人色々説ヲイヘル中々スニス其後南都ノ宝藏ヨリヌスミ出シタルト覚テ種々ノ古書数部ウリニ出タルヲ今ノ傳通院ノ住持大謙コレヲ吟味セハケツクアシカラントテ買レタリ其中ニ聞モ及ハヌ経論ナトアリ其中ニ無ノ字ヲハ易ノムノ字ニテ書寫シテアリソレヲソノツニ書テ人ト書テアリソレユヱムノ字ノ轉ナリト思ハルヽ其書ハ葢ノ書ト見ユル物多シ　孝謙天皇時代ノ物モアリト覚ル也珍シキ1ナリト語ラレタリ

一山海経ハ宋ノ頃ヨリヤ圖ハナクナリタリコレハ圖アレハ子トモラシキト思フ理窟アヒヨリ除タルト覚ユ然トモ圖カオモノ物ナリ淵明カ詩ニモ山海ノ圖ヲヨムト云題アリ畫ハ張僧繇カ書タルト云1何ヤラシニアリト覚ユ文ハ其圖ノコトハリ書ナリ文字イカニモ古テニテ賞翫スヘキナリ

一御即位ノ時ハ唐裝束ヲ用ラルコレハイカナル1ヤラン知サレモ以予懸度之大カタハ唐ヨリ日本王ニ冊封ノ裝束ヲ贈リタル故ソレヲ用

ラル、欤、何トヤラン外国ヨリ覚ル也外国ノ王ハ諸侯王ノ上ニテ天子ヨリ少シクタリテ龍ノ文ナト少シ違ナリソレユヱ世ニ傳ラレタルカ亦此方ヨリハ元来中国ヲ外國トアシラフヘキ一也田舎物スキニテ京ノ人ハ何事モヨカラントト思フ一ツウニ中華ナレハ何一モヨカラントト思フ一ツ学者ノ上多クアリ水戸ノ義公ノ唐ヲ外夷傳ニ立ラレタルハ誠ノ一見識トヘキナリスヘテ日本ニ唐ヨリ増シタル一イクホトモアリソレヲ学者ノ知ラヌモ口惜キ一ナラスヤ百王一姓ヲ中国ニテモ驚タル一アリト覚ユシカルニ春永ノ本朝通鑑ヲ編レニ呉ノ太伯ノ後ナリト云説ヲ載セラレタル由刊行ニナルヘキトテ京師ヘ見セニユキタル時公家衆ヨリサットアリテ刊行ニモナラストヘ本朝通鑑ハ其時ノ御老中酒井雅樂頭殿ナトノ世話ニテ撰レタラハ然ルヘシトテ諸生ヲアツメ

本朝通鑑ニ呉大伯の説水戸義公の作祝れしより年山記まで

公儀ヨリ二百ヒノ俸米下サレ今ニ其俸米林家ニノコルト也通鑑ハ綱ヲ立目ヘハ假名ノ書ヲモソレナリニ書出シテアルト聞タルト語ラレキ

一南郭本多伊豫守殿致仕シテノ池ヲ見廻リテ詠セラレシ歌ニ

静なる池の心ぞ秋もまた

一方以智カ通雅随分声ニテ通スル一ナトヲハ能クセンキセリ珍ラシキ博大家ナリ但中華形容字ハ声ニテ立テ文ニカク時ハ字ヲコシラヘル也犬ノワンヽトナクナトヲ王ノ字ニテモワントヽ云字ニテ先書テ置ソノ一アリソレユヱアトニテ字ヲ通用シテ筆ニカク時ハ字ヲツクルナリ多キナリ俗語ハ声ハカリニテ通スルヤウノ事ヲウメル也俗語ニハ猶以テ更ヤウノ事ヲ韻鏡ハシツタノ為ニコシラヘタル物ナリ外国ノ二合三合ノ音ニテ字ヲ合

セテ一字トスタトヘハ観世音ト云カコトキ三字ナレヒ一字ニテスムヤウニスル是外国音切ノ学ナリ外国ハ音切ノ学盛ナル土中国ノ声音ヲハセテシキ一トシテ韻鏡ト云モノ出来タリ字音ヨクハシラク吟味スハ梅諦生ナトカ如キ人ハ入用ノ一モアルヘシ日本人ノ韻鏡ノセンサ誠ニヲカシキ一也今ハ名乗字ヲカヘス為ノ入用ニナリタルハ俗ナル論ニモ及ハヌ一ナリ但二字ヲ一字ニスルトキ中華ニモアル一也盧幽婚ノ一　ノ二字ヲ一ヘハ今名乗字ヲカヘスニ似タル一況詰偶問ニ載タリ

一程子ノ学ヲ土水偶トソシレル一帝紀ハ栄花物語ト三鏡ニヨルヨリ

一六国史ノ後慥ナル紀録ナシ帝紀ハ栄花物語ト三鏡ニヨリ外ノ仕方ナシ義公ノ大日本史モ此通リノサハキヘト聞タリト也

一日本ニテ延喜天暦ノ聖代ト云一其時ノ文人ノ云出シタル一ナルヘシ二代サセルヨキ政モナケレヒ其時ナルホト帝室ノ文物ハ盛ナル故ニ一日本ニテ古ヘ学寮ニテ云ナラハシタル詞アリト覚ユ源氏物語タキリノ大将ノ及第ノ時ナトニテ考ヘラル一也ソレ而已ナラス日本ノ昔ハ講ナトノ時ノ物イヒ少シ永クツシヨロクテ日本ノ詞ノ俗ノ中ノ少聞ヨクシタルト覚ユ其事今ノ天台宗ナトニ古風少残リテアルナリ

一中華ニテ佛家ニ宗門トヘ一ナシ禅教律ト成ホトニハ二分レヒレヒ禅ニテ念佛ヲ云律ニテ禅学ヲモ兼タル也宋ノ時代ヨリ禅甚盛行レテ教ハグツキタルモノヽヤウニナリテ大カタスタレタルヤウニナリ々リ日本ノ宗門立ルニモ二百年前ハナキ一ナリ切支丹宗門ノ制禁ヨリ事起ルト覚ユ長崎奉行文言ニテアキナヒニ来ル唐人ニ宗旨ヲ書

出セヨ〻云ヲ宗旨ナケレハ何ニテモ信スル佛ヲ書出セト云付ラル、ニヨリ
関帝ヤ觀音百ナト昏分テ出ストイヘトモ聞クヲカシキ事ニテ〻ナト語ラレキ
一日本ノ叓藤原氏權ヲホシヒマヽニセラルヽヲ後三條帝ナト甚怒リ
思召レテ其權ヲウバヒ玉ヒ宇治関白ナトモ引込レタルナリサレトモ此
事ヲ思フニ今時大商家ノ手代カオモニナリテ家ノ持ヲルヲ主人カ
ヒキウバヒテ結句家ヲ持トスルニナルヿアリトカク藤原氏ノ世ノ宰相ニ
人服シタルゝ人ノ服スルトゝリ大事ノコト也
一日本ニテハ百王一姓トカク日本ノ外ノ国ヲハ夷狄ト立ヘキヿナリコレ
春秋ノ意モ千ナリ学者ノコレニ気ツカヌハ大ニ無念ナルヿナリ又
百王一姓ニ人心服シテヲル上ニ簒奪ヲ行フヿナラヌナリコレ外国ヨリ
日本ノ人實気アル処ナリ

一徂来明律ヲ解セラレタル時岸叔達ヒタト　御城ヘ召テ律ノヿ
御尋アリタル故横帳ニシテ懐中セラレタルカアリ少ツヽ叔達ノコシヲヒネ
リノヒヲ何者カコシラヘテニセ物シテ外ヘ出シタルゝソレユヘニセ物ハ少部ナ
リト也

一八種畫譜ハ至テ俗ナル繪註スルニ足ラハ笠翁畫傳モ今日本ニテ云
町繪ナリ中ニヨキ繪ニテハナシ畫論ハ津逮秘書ノ中ニヨホトアリ
ソレヲヨニテ見レハ大ニコトナルヿ也雪舟古法眼ハ誠ノ唐流ノ繪ナリ
席繪トスルヿ中華ニナキヿ也五日ニ一水十日ニ一山ナトカラノ人ハニテ
大事ニカケテ繪ヲカクヿ也
一日本人ノ古ノ筆蹟ハ晋人ヲ似セテソレヲカナニヒキウツシタル故假名
ニテモ見事ナリ

一隷ハ成オト楷ト一ツト見エレトモ隷ハ篆ヨリウツリ来ルユヱ後世ノ正楷トハ少シク異ニ覚ルナリ

一千鍵ハ拙畫ナルト云ハ種畫譜アルモツクリ物アルヘシ洞嚴ヨリ但未真蹟ヲ贈物ニシタル拿州ノ手又猗蘭庾ノ所ニ王元美カ手跡アリイカニモ見支ニハナキ物ナリ烏石ハ前カト廣澤ノ弟子ニテ文徵明ニ子タリ其後古法怡ヲ見テ書カヘタレモ文徵明ノ風ヌケストカク楷書ハナルホトヨク書ト覚タリ

一宇治拾遺ハ真ノ書ニアラシ宇治ノ関白殿ヨリ後ノ作モアリ而シクラノ側ニシヤレカラベアリテサハカレヌ法樂公ノ作、大鏡ニ見エタリト也江談ナト寫本甚地モナキヲ前カト見タリ其後羽倉齋治カ改タルヲ借リヨセテ世話ヲ著セシ時ニ書出シタルトナリ

一越絶書ハ子貢トゾトモ心得カタシ但大カタハ前漢ノ人カ秦人ノ作ナルヘシイカニモ文古メキタリ呉越春秋ノ作ユヱイカニモ口ヲ讀ヤスキナリ

一瑯琊代酔ハ大ニ心得ラレヌ書ナリ方以智カ通雅ニ博大家ノ書ヲヒカストゾトナキ代酔トニ名モ出サスサテ又大カクハ揚升菴カ丹鉛總錄又ハ外集ナトヲヘルヘト出シテ張鼎思カ科簡ニシテサバキアリタレカコシラヘタルナルヘシ代酔ハワツカ斗アリ作リヲヘタルナラン歟語ラレキ

一搜神記漢魏叢書ニアルトゾ津逮秘書ニアルトハ大ニ異ナル物ナリコノヤウナルハ中華ニハ多キ事ナリ

一重簒ト云物六国史類聚国史ヨリヌキ出シテ部類ヲ分テ

キリ出シテヨホトアリ御旅本ノナヨリ献上セラル、ソノ艸稿ヲ見テ
世語ノ中書出セルトモアルトナリ

一唐六典ハ迚不自由ノ書ナリ近衛関白殿判行成サレ諸侯（噂
物ニ成サレタルヲ本ガラヲ見タニフト語ラレキ

一紀人龍門（俗称宮瀬三右エ門）ノ事ヲ尋ルニ成ホト芙蕖館（ヘモ来リタル人ニ逢
浮薄ナル人柄ユヱヨセスト語ラレシトナリ

一徂来学ニテ世間一変ス然トモ徂来一生ノ間ハ人半信半疑ヲ今ノ世
文物ノ開キタルヲ見セヤセバサソ悦ナルラメ但今時復古ト云ヲ俳諧
ニテ云テサテ、復古ニ開アキタルナリ人ソハメキニサハグヘテ軽浮ノ
世ノ中ノナリ

一切支丹宗門ニ宋代ニチヨウト似ヨリタル事ハ麁ト云モノアリトニ

抄出ノ書ヲ見セラル

一周南ノ詩ハハヤサウト校シキヤリタリ四巻アリ文ヨホトアリ辺ヘ
リ来ルヘシシラベテヤリテ大坂ニテ彫ルナリ序ヲ書スハ成ルヘシキト語
タヘリ

一春秋繁露ナト古書ナルユヱホリキリ有リテヨメヌ所モアル也墨子
ナトモ真贋大カタヘシハリタラントト思ハルヽトニ

一礼伎類典出来テ近衛公ホシカリタヘヒ我公トハ不通ナリ其
故ハ義公ノ嗣綱條卿ノ夫人ニ近衛公ノ女ヲ御モラヒ成サレ度
トアリケルニ関東ヘハ遣サルヽキ由ニテ真後

一礼伎類典出来テ近衛公ホシカリタヘヒ我公トハ不通ナリ其
故ハ義公ノ嗣綱條卿ノ夫人ニ近衛公ノ女ヲ御モラヒ成サレ度
トアリケルニ関東ヘハ遣サルヽキ由ニテ真後

一廟イヽタ櫻田ニオハシヽスル頃要ラセタヽフ故我公怒リテ不通
ナリ近衛公江戸ニ下ラセラヽヒテ文廟ヘ仰ラレ文廟ヨリ水戸ヘ

命セラレ礼儀類典献セラレシ家中ノ若キ士ニテ集リテ書寫五百巻出来テ献上アリ水戸ニテハ腹ヲ立タルトナリソレヲ近衛公トノヲ京ニ帰ラセタマフトナリ

一延喜式ハ開元式ニヨリテ出来タルナリ唐律ハ唐本ニテハナク寫本ニテ傳タリトナリ

一文選纂注ハ張鳳翼ナリキレイナル本ナリ今ノタヽクサナル本ハニセ物ナリト也

一十三家ノ仆但来ノ物語ニテナリ李滄溟カ文ノ中ニモ見エス余別文ノ中ニモ其事ナシト覚ユ李寧カ集ニ云タルヲ慥ナラス大泌山房集弁別文ヲ一クサ井ヤハラカニ書タル物トナリ

一上様ト云詞平安ニテハ上代ヨリ天子ヲサス詞ナリ

憲廟ノ御時兩上様御機嫌宜ト京都ヘ云ヤラレタル文書アリ京都ヨリトカメテ兩上様トハ當今ト院御所ノ御事ナリト云カヌト云来ル憲廟モ聞召今ヨリ左様ナルヿヤハアルヿト御意アリキヤメニナリタリ上ト公方ノヿヲ云尤ノサス詞ナレトモ書ニクキヿ也公上ト云カタヽシナラシカト覚ユスベテ制度官名叙事ノ体ニトウモ書レヌヿ多シ脩飭シタル文ナラハ官名ナトハ古キ名ヲ出シテモヨカルヘキヲ叙事ノ体ナラハ實錄ヲ本意ヲ失コト書クキヿ(故)

一学問ハツニ置テ発明スルカヨシ但来ノ学問ナトツミ置テ発明セラルヽヿ

一日本帝室ノ衰タルヿヲ書タルモノニ水記トヽモノアリト聞ク未タ見スト語ラレキ

一谷卿音集トヽ物日本ノ僧ノ書タルモノ也焦氏筆彙ヤ徐氏筆

精ノ類ナリ黄蘗ノ悦山ナトヘ見テモラヒタルト也悦山ハ不学ノ人ナリシモ国名料簡ニテ学ヲタルトナリサハキタル事ノ文字ヨ悪シキナリ

一三種ノ神器ノ一色ニニ云ト見エタリ先ハコレモ秦ノ始皇ノ和壁爾斬蛇剣ヲ代々傳ヘタルトニ擬セラレタルト覚ユ小説ノ中ニ傳国ノ璽ノ事ヲ随分ニ書ツケタルカアルト也

一史記ハ前ニモ云通リ未定ノ書アリタヽクサニ古キ紀錄ヲトリアツメテ未ソロヘヌ所カアリ今ノ代ヨリ見レハ結句フルデニ見ユルモノ多シ倉公カ醫案ナト倉公学問アルヘキ人ニモアラスソレヲ少シハ司馬氏カ取リ〻ロヒタルナラント思ハル今ノ世ヨリ見レハ大ニ奇古ナルモノナリ

一説郛ト云モノアリ説郛ノ板書ナリ何ノ用ニモ立ヌモノ也

一宋ノ諸君子ノ手跡ハ大カタ人品ニテ賞翫スルト見エタリ山谷ナトハ手ニモ骨折タルト見エタリ但末ハ至テ悪筆ナレトモ気象ニテアノ如ク書出サレタリ定家ヲ悪筆ト古来ヨリ云リイカニモ〻〻如ク書テヤ書ニ大分書寫セラレタル処ヨリ定家流ト云一流ノ悪筆カ出来タリコレモ歌学ニテ人ノ賞翫スルヨリ東涯手跡ハ甚ヨシトホメラレタリ

一不分ナリナト云俗語六朝ニモアリ杜詩ニ多ク俗語ヲツカヒタリ今ノ千家注先ツヨキナリ看他世上人ナト俗語ナリ自他ノ他ト見テモ通ス外ノ所ニテハ大カタカクト云スコノ詩ニテハ自他ノ他ト見テモ通ス外ノ所ニテハ大カタカクト云詞ニアテヨク聞ユルナリ

一博大ト著述ト兼タルハ元美一人ナルヘシトナリ

一唐書モ字甚ワルシ此度刊行ハ庄藏ノ校合ユヘカルヘシト

点ヨホト上ニシク唐書ハ文濱メカタキモノナレ点ヨキ故讀ム人ニ大ニ益アリ一点モ唐書ノ如付タラハヨカラン唐書ノ点ヨラヌ計キヨリ校合ヨカルベシト思ハルトノコニ言ニモソノ人ノ学カホトヨリシラレケレ　寛政十己加定章記

云ヒキ

慧琳カ一切経音義百巻アリ其中ニオヒタヽシク字書ヲ引タリ隋唐ノ藝文志ニ引合セテ見ルニ文志ニナキ字書甚タシ然レハ中華ニモ字書大分亡タリト覚ルト十リ

一百川学海ヲ壮歳ハカリノ時見タリ其後書出シテ置ケハヨカリシニト思フテ後悔スル事多クシテ其後ハ珍シキ書ヲ見ル度コトニ色ヽノヲ抄出シ唐宋ノ叢書説郛續説郛十ト片ヒラ讀テ抄出シタリトテ類分ニシタル抄書十巻ハカリ出サル名鬼神文詩事雑十ト、類ヲ合タリコレハ手前覚ヘニシタル工夫人ノ用ニハ曾テ多ヽス決テ人ニモ見セスナリ没後ニ火中セヨトカタク云ヒ置ト十リ此外ニハ何モ著述ナキト語ラレキ則此書遺契ナリ

一大東世語ハ元来假名書ヲ見タル時抄出スルニ直ニ譯文ニシテ書出シテ置タル也ソレヲ又増補シトリ合セテ書タリ長押木ヤトナケシヤハリ日本詞ナリ資朝ノ春　ハアノ方ニテ移車ナトヽ云ハ石ダイノ下ニ車ヲツケテヒキアルクト見エタリソレユヘト書タリ

一文選ノ李善注モ字カ悪シニ板アリシトアリ

一玉ノ一今ノ水晶トハ少シ違ヘリ水晶ハスルトキ色ナリ玉ハ今少ウルミテ成ホト溫潤ナルモノナリ今モ出ル十リ見知ル人少キ欤ヽ思ハル、十リ

一論語徴集覧モ(来)成年中ナトハ刊出来ヘキカ出来タラハ書ヌヘ涙シテ世上ハモヒロメ世ノ人ノ為ニモスヘキトノ心ナリ

一冷淇詩ニモスコヌ詩アリトカク七子ナトノケウガイ出合ノ
揆子クハシク知レ子ハ推量スベシキ多キト也
一七経孟子考文モ必アノ通ノ文字ノコラスヨキニテモナキトミ
一ウツホ物語ナト盗刑ト見エタリ子共ノ玩フトシカケノ（利蔭）
文字モツベケリソレヨリ後ハ錯簡一向次第カスコレハ大和ト
チヨ切合ケテ急速ニ寫シタルユヘ次第カ敢ニナリタルナラント也
一日本律ハ山田大助ノ父ノモトニアリテ
有徳院殿ノ寸献上アリソノ時世話ナトシテチヨト本カラ見
タルト也
一古今ノ文人ト云ヿ小説ニテ見タルヤ得思ヒ出サス宋人ノ語古人
ノ文人ノ中ニ四家左氏馬氏荘氏屈氏皆シハジメノ人ナリ左氏ハ
言人荘子ハ言元ナト云評判アリタルト覚ルナリ
一鹽鉄論漢ノ文ニテ成ホトヨシ経濟ノ事ユヘ文ノ書カタモ其用
ヲクツスル為ニ一位平易ニ書タル物ナリトノ
一管子ニアル地理ノ一ト丈時代ニ一種ハヤリタルヿアリタ
リト覚ルトナリ
一副墨ハ伯玉カ自分ノ撰ユヘ先ツヨキ方ナリト也
一講ト云ヿナラハストシ心ニテ昔六朝アタリノハ今ノ講書トハ違フ
ナリ色々ノ役人アリテ讀師ナトハ讀アケル役人ナリ天台ナトニ
法華ハ講ノ古風ノコリテアル也今ノ講書トシテハ宋ヨリ始レル
講釋トシ字ハ成ホト六朝ニモアルトテ抄書中ヨリ出シテ見セ
タマヘリ

一三浦ヘ十日ヲヘリ游タリヨホド絶句作レリトテ見セタレヘリ

一平家物語ハ日本ノ文案ノ中ニテイカニモ古文ナルモノ也ヨク云ハリタルモノ辟言ハ清盛ノ怒ラシタル体ナト見ルヤウニ書タリ中々及カタキ假名文章ナリト也

一日本ニテ近頃ハ文化ハヤリタル故唐流ノ画モ少シハヤリ出シタレトモトカク明ノ當テニカクナリ明ハ画ハアレヽ委シクハ画論ニテオスヘキナリ也

一三教一致トハ云ナカラ明朝ニテ一宗ヲ云出シテ是モ又切支丹ノコトシ真書ヲ見ルニ道ハモト老子ヨリ出タレヒ李伯陽カ参同契ヨリ一致ト立儒モ周茂叔ヨリシテヒキ合テ建立ナリ佛ハ金剛経ナトヲ引ケリコレモ経ハ天帝ノ側ヘ帰ルトタテタル宗旨ナリソレ故明朝ニテモ後ハ殊ノ外制禁ヲヨクナリタリ末世ニ色ノ〻ハヤリ出スモノナリ

一漢魏叢書モタンヽソキットシタル人ノ定メタルトモ開ケヌ大カタ書物屋ノコシラヘ欲文字甚悪シキモノ也不残一覧シタレヒシラスヘキヤウモナキト也唐宋叢書モ同シ〳〵

一荘子郭注唐ノ玄英ト云モノ疏ヲ作ル道士トモ僧トモ云唐ユヘ殊勝ナル〳〵モアレヒ埒モナキ〳〵ナリ

一経学漢儒ニタヨラヌハ訓詁スヘカラス又サンヽ埒モナキ注ナリ六経ノ者ノ肝心至極ノ物ナレヒ中ヽ一ツモスヽカタヽ書経ハヨメニクク合点ユカヌ処少ナラテハナレ孔安国注モアノ通ニテスヘキトモ思ハレスト也

一コ共ヲ教ルニ素讀サスル時アトヲサラヘル〳〵成ホトヨケレヒ向ヘスヽマ

ヌハタイクツスルモノ也我等ナトモ十二三歳ノ明親カ四書ヤ三體詩ヲ教ヘタルニ透ト忘レタリ其後又ヨミ覚エタルト語タヘリ

一春夜宴九岐多侯牧賞館
春天花月夜侯館苑牆陰相得風流會無非怡賞心林
光侵乗燭水響入弾琴撃折城門近方驚密坐深
此一枝老師クレラレタリ

一東慶王随意自ノ諸大夫某別テ懇意ニテ著述モナル人也京ヒタト御使ニモユキ御供ヲモシタリ京ニテハ日華門月華門ヲ院宮
始メ文字ノ宜キ所アリ古跡モキハメテ風雅ニテ名モ皆面白キニ公家衆詩作ルスヘヲ知リ玉ハス江戸ノ地名ハ雅ナラヌニ詩人詩ヲ作リタカルト云テ笑ヘリト語ラレキ

一南郭ノ僕平田十太ト云ヘリ親ヲ養フ為トテ少シ文字ヲシリ細ユモヨクテ正面ニ碑ヲスルニツハ満地金銀百尺臺ノ詩一ツハ春眠無客至ノ五絶ナリ

一畢竟宋学ハ一種ノ学問ナリソレユヱ我ハ折理家ト名ツケタルトナリ

一学者ノ料簡ニ出テ國ヲ治メハカヤウニスヘキナトヽ云コノ方ノ理窟ヲ心ニ持テ時勢ヲモ知ラス大カタハ出テ経済ヲ誤国ノ罪ヲ得ヘキモノ也ソレユヱ米ノ字ヲ文ニ書テオ久シト思ヒタレトモ又思フニ左ヤウニ書タレハトテ用ヘキニ非スヌ書タレハトテ用ラルヽト用ラレヌハ天ナレハ無益ナリト思テ文ニモ作ラス大カタ今ノ学者ハ紙上ノ空談ニテ

山川ノアリキタルコトヲ民ノ情合ヲモ知ラテ人ヲ治メント思フハニガシキコトト語ラレキ

一今ノ人ノ名ヲムサホリテ南郭ニ逢タル又ハ南郭ニ詩ヲ見セタレハホメラレタルトテソレヲ名聞ニスルサマニカニヘノ少キコトナリ学問ハ古人ノ目アテニシ千載ノ後ノ知己ヲ待ツ心ナラテハナラヌコトナリ

一公方ノコトヲ如何書ヘキヤト西臺疾カ守山疾カ何レヤラン文ヲ捧ラレタル時何ニ故左ヤウノ時ナラハ書経ノ例ニテ吾后ト書テハキラカスヘキカト云リアノ方ニテモ正名ニ書レヌ時ハイキラカシニシタルコトモアリトテリ

一楊升菴外集モ考古ノコトハカリ也スヘテ外菴ハメツタニ奇僻ヲ探ルコトスキナリ扁舟ナト遠キ證ヲ出セリ近ク史記ニ出タルコトヲ忘タル可笑シキコトナリ

一古三代ノ時ノコト疑ヘキコトイクハクトヲ云コトヲ知ス井田モ残ラスシタルニアラン井田ニナラヌ所イカホトモアルヘシソレハ大カタ井田ノナラシノワリ合ノシカタアルヘキナリ左傳ニ井ニーヲトト云ナリ

一荘子謙ノ校正ノ楚詩ノ咄アリ校合甚悪シ子謙イソカシタル門人トモ寄集リテ校シタルユエカトカク精密ナル学問少ケナケカシキコトナリト語ラレキ

一制度ヲ考ルハ杜氏通典ヲシ詳ニ考ルナラハ文献通考ヨリ外ナシトノコト

一顔魯公ノ手跡ハ人カラノ通リスルトキチナリ

一徂来ノ書ハモハヤ判ニハ先ツ出スヘシキ也未定ノ書ニテ書ナラヘテコリ筆ヲメニ大分書カヘテアレトモシラベガタキコトナリ

一但未モ仁ト云サバキ六心ヲ用ラレタルナリ美ト云ハ聖人ノナヲサハキタニヲソレヲカ子ニスルヲ美ト云ト但未ハサハカレタリ

一大テイ宋ヨリ已後韓柳歐蘇ト四家文章ノ手本ニナリタリ後世少ツ格ヲカヘテカケル李ナトカ如キ変スルナラス大カタハ韓ヲ学ヒタルモノナリ

坡カ文オモ誠ニ絶倫ナル立當世ニ大カタナラズモテハヤサレタリ借銭公事カ何ヤラン訟ノアル時カタニヘケニテ大分銭ノ出サヲハナラヌナヲ東坡サハキニ其ナノ判断ハせスシテ紙アツメ筆ヲトリテ物ヲ書テヤリタルハソレヲ買モノ群聚メルノ間ニコレホトノ銭カ出来テ其公事止タルトナリ小説ノ中ニテ見ラレタルトナリ

一會業トハ中国ニモアリテナルホト會業ノ引トハ文ヲ見ヒトナリ

一南郭ノ書物外題ノ内ノ小ワリ残ラス書ワテ［　］ヘノ処ニモ部ワケ書出メ考ル時引出シ易キヤウニシタリツクヘノワキニヨセ木ノ書タナアリ高サ三尺ハカリ上ハヒラキ戸ニシタリ下ハヒキ戸ニシテアリ

已上十月十日芙蓉館ヘユキタル時南郭ノ話ナリ猶数十條アリ思ニ出次第書付ヘシ

一紙窓トハ中華ニモアリテ詩ナトニハ梅花透紙窓ト見タル故書タリコレハ中華ニテハ障子ノ事タルト南郭ノ玉ヘリ

一見トハ睹ト云観ト云視ト云類同訓ニテ異義ノ字甚多シコレライロハ分ケニシテ古人ノ用タル句ヲ其下ニ注シテ字義ヲ知ルヘキ為ニシカケタルト老師ノ咄ノナルハ成ホト尤ナリ和訓ニトリツケハ迷サハホトニ書ヲ見ル度ニ書出メ置タルカイカニモヨキ用心ナリト南郭ノ玉ヘリ

一十月廿九日東禅寺行香ノエトリ芙蓉館ニユキテ謁ス南郭會

業禮記郊特牲ニテスニタルナニ新注ハ假名カキノコトクナル由ヲ
タルニ南郭云ナルホト其通ナリ但新注ニモヨキ一アリステラレヌセヌ
頼達隨分記タルヒアテリクヅヽキテ愚癡ナル所アリ大テイ唐ノ初ノ
学向六朝ヨリモチヽラアノ通リニスヘテ六朝ニアテリヨキ学者ナン
ト詰ラレキ

一南郭云晋ノ玄談ノ人詩ノ上手ナレ許云度ナト詩坪モナキナリ
慧遠ノ詩ハ中ハ面白シ其節在家ノ人ノ及カタキ一ノ宋已来
詩僧ナシ唐ノ九僧ナト名高ケレヒ中々日本ノ万菴ニ及ハストナリ
又明ニハ

ト旧支記トヲ引合セテサヘニ疑ヲツケテ色ニ細注ナトアリ藩譜史
疑トモ白石ノ著述ナリ

一宝暦四年二月十六日君脩来訪君脩云扶桑隠逸傳ノ讀ヲ
見タルニ殊ノ外文面白シ和歌ノ書ナト大方讀タルト見エタリ深
艸ノ元政ハ師徳アリテ人ニ生タル如来ノ如ク思ハルト熊澤大夫ノ
書ニモ見エタリ子亮京都メグリシテ深艸ヘユキテ元政菴室ノ
アトヲ見タルトアリ折フシ開帳ニテ元政ノジキ筆ノ和歌カケ物ニシテ
有シヲ見タル

くちなしの色にも心よかるべき筆のすさみ

黄勉叔ノ編シ喪祭通解ハ玄モノ宋板ニテ松平備前守殿方
ニアリシヲ子迪南郭方ニテ借礼會讀ノ時カラレタルト也又君

くちなしの色にも心よかるべき筆のすさみ
本文のごとく句と傍点とを併せ用ゐたるもの

倭云古人ノ礼家二十一人ノ論ヒトツニ集置タルト朱子ノ語類見エタルト也

一日本ニテ国初已来経済ヲ云人熊澤白石徂来春臺四家也白石ハトカク江戸ヲ禁裡ノ如クスルツモリノヤウニ見エ武士トシテキラヒナリ武備ニミタラハ乱起ルヘシ然ハ唯正名ト云ハカリニテ経済ハ次ナルヘシ熊澤ノ経済ハ草命ノ時ナラテハ用カタカルヘシ春臺ノ経済モ只今ノ通リニテ少官名ナトヲツケ官服ヲコシラフルニテノミト見エテハキトシタルコトモ見エズ徂来ノ政談モトカク今ノ上ニテソツ、ルヘキコトヲ計リテ書上タルナラン欵戸云トカク政談ノ通リ旅住居ヲ止ントナラハ諸侯ノ参勤ヲ止人質ヲカヘシ大名ノ国ノ根本タルコヲ知セサレハ旅住居トシテ止ベカラス君倭云大名ヲ国ニ返スコト徳川家ノキラヒノヤウニ覚エ集ルヤウニスルコト　徳川家ノ物スキト見エタルユヘ徂来モソコヲ積リテシレタカ又徂来モ大名ヲイヤカリテトカク大名ヲ三十万石ラ大身トスルコト大名ヲ忌レタル心ナラメヌ又云徂来ノ云今ノ大名ノ内行不修不埒ナルコトモキツト叱リカタシ万一手ノ下ノ人身上ニテ何モスルコトナケレハ悪シキコトヲせ子ハナラヌ勢ナリ大名ニ何ニテモスル業ヲコシラヘテアテカヒ度コトナリトモ也

白石ハ我ノソヨキ人カ　文廟未タ甲府殿ト申せシ時掛物ノ繪賛アリ御吟味ニテ白石ノ考ニ明画ナリト也養朴カキハメニ宋画ナリト白石甚シソレヨ不快ニ思ヒタリ二十餘年ノ後朝鮮来聘ノ時

按ニ彼国ニ遣サルヽ御屏風ニ十双ノ中三徳宮ノ景一双并河行幸安樂寺ニ双已女奴額女ニ双以上来食外ハ画ク処清少納言ニ式部ニ無

洞春ノ画ニ及ノ中也然レハコノ妻良朴カ画トスル傳聞ノ誤也且今洞春美信カ家ニ彼ノ粉本ヲ傳フトイヘハ此所ノ説誤ナルコト疑ナシ

養朴屍風ヲ書タルニ
所ヲカキタル二雪フリ埋ミタルニ軒ノ所雪スクナシトテ白石評判
セレトモ軒ニテ
養朴云イカニモ左ヤウナレトモ繪ノ古傳ナリト云白石ソレハ傳受ナルヘ
ケレトモ異国ヘワタス二傳受ノ1ハスレテシレ人ノ笑ヲウクヘシトテ書直
サセテせ余年ノ不快ヲハラシタリト云シレ由左スレハ白石ハ人品ハ如何
禁裏ト云1ヲ知ラせ申1
一儀院ノ御前ニテ清少納言簾ヲ巻ク
ト覚タリト君脩語レリ
一君脩云明人ノ明末ノ学問ハ大二風アリ大抵王陽明李卓吾陽楊升
菴三人之学問ヲコヒ子合せタルヤウ也陽明心学ニテ朱子ヲソシリ李
夢陽ニテ宋文ヲソシリ楊升菴カ奇僻ノ考ニテ宋儒ヲソシリタルヲ
ヒトツニシタルヤウニ然トモハキト宋学ヲウチ破リタル見識ノ學問ハ
ナキ也
一君脩云本朝文粋ヲ見レハ六朝ノ四六ノ躰中々ヤハラカナル書手アリ
ソノ後文運クラヤミハ論ニ不及国初已来モ叙事議論ノ躰ハ悉
ナレ徠翁已後叙事議論ノ躰ハキト分リテ叙事ノ躰ハ備レリ
仁齋叙事至極ノ下手東涯モ其通ナリ湖亭涉筆ニテ見
レハ叙事モ書レタルトハ見レ共如何アルヘキト也
一君脩云トカク諸子ノ中ニテ文章モスクレ議論モトカクスレヌハ
孟子一人ナルヘシ
一君脩云三国傳ハ板行シタキコトナリ正言モ板行シタキコトナリ
又春臺ノ門人ニテハナク心安キ人内藤君房日本ノ叙事ヲ
カヽレタル殊ノ外ヨキ文ナリト春臺モスレタル由其時君脩未

幼少ニテ其文ヲハ見サリシハ也

一君脩云武徳編年集成モ近頃ハ樋口彌門方ニ出テアリト
ナリ経邦礼典ノ一弥門方ニ合タルニ知ラストゝヘリ

一君脩云韓退之詩ハ下手ナリ柳文ハ封建論ノ外左ノミ見ルヘキユヘ面白カラス明文奇賞ヲ見ルニ明ノ劉基ナトスラノヽシタル文ヲスク人ナシ

一君脩云白石ノ采覧異言殊ノ外ヨキ文ナリト春臺ホメラレタルトナリ

一君脩云板美仲カ母ノ行狀ヲ書タル文ヲ見ルニトカク文ハ上手ナリトナリ

一君脩云徂来ノ著書ハ皆ナクテ叶ハス書ナリ春臺東渥ノ作ヲハ無用ノモノナリト思ハルヽトゝ

一君脩云春臺ハトカク今ノ江戸ヲ草命トミテ山城ヲ勝国ノアヒシラヒ也キコエヌ一ゝ又　憲廟ヲソシリテ　文廟ヲホメラル徠翁ハ　憲廟ヲホメ　文廟ヲオトセル也但シ　文廟ノ御忌中ニ馬ノクヒモ生類イタハリノ一御免ハアヽリナル一欤

一松平紀伊守殿間部越前守殿ヲオサヘラレタリ又有徳廟ヨリ内官ノ権ハ盛ニ成タリ又牧野備後守殿加納殿ヲキヒシク押ラレタリ然トモ次第ニ内官ノ権ツヨクナリタリ中国ノ官官ノアリサマヲ詳ニ君脩語レリ

一国初ハ文盲沙汰ノ限ヲナルヲ一ニテ水野明卿ノ咄シニ酒井左衛門尉殿ノ景図ヲ出シノ時一家中ニソレヲ書人ナクテ

文廟御忌中ニ生類イタハリ御免アリシ一ノ由ハ白石ノ新楚芝記中巻ニ詳ナリ

系圖ツクリ　　　

ノ會アリ云々　　（朱）卿老中ニ十リ久ニヘトモ何ノ功モナシアナタガ
老中ナルハ　　（朱）ノリヨカコシト人々思タルニ存ノ
ニル詞ヲ用ユル云ヶ寸春臺曰論語苟患矢之
人ノ御詞万世ニカゝこナルヶ大言ヒラレタルト十リ
一子亮云井伊ノ家ハ江戸ノ風俗ヲ見ナラハせニシキ為ニ
交ヲカタク禁ス窓ノナキモ江戸ノ風俗ヲ見習せニシキ
一二月廿九日東禪寺行香ノ時芙蕖館ニ至ル武侯ノ
賜リタリ
一閏二月十三日君脩来訪云白圭碑碣ノ中君憂
ノ一段石ニホルヿヲ除キ沈晦候命ト云ニテヲ
一子允自讀ノ歌ニ　（朱）源氏よまかりし時書のそふを遣し

つみもそりく神も哀ぬ
月の歌よこれハ子允卒云のおもかげ
秋ふとなそらかりもいひてまさあれいさるくの月をこそ
つりまて老をなめるあれいさるくの月をこそ

一榊原康政ノ碑姫路ニ有リテ春臺翁見ラレタルニ康政七功徳於
天下更中殉死ヲヤメラレタルヿアリト也羅山カ春齋ノ文作ニ
アルベキナリ見タキヿト君脩語レリ
一鵝湖問答ノヿ永子文集ニモ朱子語類ニモ見エス学部通弁ノ
中ニアリトカ　君脩語レリ
一猛虎ハ云　　高ノ詩ハ王荊公好テ吟セラル、詩ノ作者ハ元紫
芝ナリ云々　　四ノ中ニアリト覚ユト君脩語レリ

一仁斎名明 ㇾ造名ハ正辰モト松平紀伊守殿ノ醫者ノ子十リ今 ニ在リテ仁斎ニ学ヲ講スルトアリ

一秋仁傑ナル子元ハ決定メ九ノイナリ早ク諫テ自分ノリ以ヲシタキト云ハ名聞計リニテ真實ノ忠ニアラス陳平周勃狄仁傑カ如キコソ本ノ忠臣ナラメトス論アリト君脩云ヘリ

一士寧ナトノ文ハ能モアラメ𠮟千ニミタルト覚ユ辞言ハシレウトメニイフニヨキレタル孺人ノ千ニミタルクセノツキタルヤウノ文ナリ南郭ノカニヘラヨキフトシテ又自ラシカリタルヤウナリ君脩屢ヲ式ニ云ク南郭春臺両人シテ已カ物スキヲ立テ人オヲ束縛シタニフト覚ユ但来ハ門人ノキヲ銘々ノ長ノ通ニセラルニニ君子ハ然ラストナリ

一産語ハ春臺ノ文ノ中ニテ飛キリタル出来ノ文ナルト思ルト君脩ノ説十リ

一春駒集ト云狂歌集 南郭ノ序アリ初稿ヨリ前ノ文ト思ルト君脩語レリ

一酒井石見守殿ノ世子山城守殿ヨリ詩ヲ作リタニヲ近来諸矦方ノ詩一カニヘニテヨク似タリ詩ハ志ヲ云トニハアハズ同ジヤウニヨク似タル処ウレシカラスソレユヘ志ヲ云トニ方不足ナリタトヘハ繪ニ書ケル女ヲ見テ心ヲ動スカ如シトニ評判ニ似タルニト君脩云ヘリ

一平安ノ人龍衛門名ハ公義字君玉草廬集ヲ作テ序ヲ君脩ニタノニタレトモ辞ツタナニ芥川宋女荀子ノ序ヲ作ル清絢字君錦又條士明俗名又ハ木君恕是等ナト平安ノ才子ナルヤ

一但来者ハ出シテ曰ニテモノカルニナシ皆ソラ覚ナリト君脩ノ話ナリ

一ノ本ノ文ニ事實タカヒタルト覚ユト君脩モ日本記ト

後年沈屋台翁のおっしゃる処と相違の所多年山集二の巻ニあり

引合セ
一君脩云帆々　衡門美竹ノ俗称ナリ美仲春臺集ヲ識リテアレ
ハ白上書請取子形ナリ文ト云ハ李夢陽已上ヲ云ト大言セルトナリ
一君脩云春臺ノ名ノ西要略ハ断易天機ノ筮法ナリ如何アルヘキヤトナリ
一節義ノ事ヲ論スルニ禎公源平ノ時ノ士ハ格別ニ義アツシト段々證ヲヒク
君脩云イカニモ今川氏真ノ没落北條氏直ノ高野ニ入リ死ナ
タルナト一人モ殉ナシ中華人ニハカヤウノ所ニテ多死シテ供スル人
アルト覚エルトナリ
一君脩云春秋中ニ黄河ノ患ノ見エサルハ如何魯ハ河遠キ故カト
ナリ
一礼記ヲ鄭玄馬融ナトガ取アツメタルト云ナレ二十一史中イツレヤラン
ノ経籍志ニアリ隋書ニアリタルカト覚エト君脩云リ
一オトギゾウ子ハ至テ好書ナリト君脩ノ評ナリ五朝小説ノ中ノ咄ヲヨク
染カヘシタルモノ也ト君脩ノ友人小説ヨク讀ム人ノ云ヘルナリ
一君脩モ子トモヲ教立ルニハ先ツ平家物語太平記ナトヲ讀スルト可然ト云ヘリ
一君脩云千鍛擬古ノ中ニ間ヌハ易水歌埃下歌ナトニ似スルヲ好キナルヘシ
一今ノ林民部少輔ハ大学頭信篤ノ四十六士切腹仰付ラレシ
時詩ヲ作リ其ニ曽聞壮士無還去易水風寒連袂行炭唖変形追
豫讓甚嫌石碎死何悔義氣永消生大
軽四海仗劍仇讐不察思誠コノ詩ヲ御老中列坐ニテ

出サレノ何ニハキト秋元但馬守殿云レシ時詩文ヲ作ルヿ
禁制ナラ　リノ一ナリ詩文ヲ作ルアラハ實ヲアリスカク書ヘキ一ニテ
此通リノ一リ並言セラレタル其時　憲廟ノ上覧ニ入タルトナリ
一君脩云日本ニ詩話ナシ書タキ一ナリトゝヘリ
一百人一首ノ評判禎存念ヲ云君脩モ云定家ノ詞ニ家隆ハ歌ヨミ
我ハ歌作リナリトゝヘリ
一春臺ハ會讀ニ必下見ヲシテ下見ノナキ処ハ會モセラレストナリ
一明道ハ誠ノ賢者ナリト覚ユ司馬温公程伊川王荊公ナト中ニ
人ヲ人トモ思ハス衆中心眼格別ノ一ナリト君脩ノ説ナリ
一左傳国語ナトニ先王ノ典刑ヲ立カヘサルノ改ルノ又ハ改メスカヨキナト
云沙汰ハユヘリホトモナシレコレ聖人ノ定メハ動サレストゝ一極リテ有タル

故ナルヘシ後世ニ大テイ吾職分ノ一ハ建議スレトモ外ノ一ハ論セス宋
朝ヨリ理窟ヨケレハ開祖ノ君ノ定タマウ一ヲ改ルノ改メストゝ云論モ起ル
ニヤト覚ユト君脩ノ説ナリ
一禎云晋ノ公子信陵君ノ朱亥ヲメ秦鄙ヲ殺サシメテ其軍兵ヲ
吾手ニ入タル一ナト日本ノ武士ノ風ニテハアハヌ一ナリト云君脩云イ
カニモ其通ナリ禎又云漢高祖ト楚項羽ト會セントキ高祖間道ヨ
リ逃タル一其時范増ハ如何シテヨリタルヤ云ノ舟ヌハ合点ノユカヌ一
ナリトゝ云君脩云昔後世ヨリ見レハ甚怪シキ一也コレハ定メテ今ノ世
ニモアル一ニテ一ノヒナトヲ用ヒサセンシタル一アレ𪜈只其計ハ秘メ傳ニ
正面カリ　タレハ不審ニ見ユル一モアリ信陵君ヘモ高祖ヘモ
内通ノ　ナリタル　何ノ知ラヌイリワリ有タラントナリ

一詩書ハ何ヲ春雪ノ信セヌハ如何アルヘキト君脩云ヘリ禎モ無用ノセノナ　先ス九ナリ

一但来ハ至テ情ノコハキ人ナリ墨水ノ懐古ヲ子式作リ白歐ト云ハヤハリ都鳥ト云タハカミシトモ也カレヒノ上ニ涙オトシテトモ云モ墨水ノ事ナリト但来云シ由子式伊勢物語ヲ見シニカレヒノ八橋ニテ候トイヘル但来ソレハ覚違ナリトテ合点セラレサリシトノ君脩語レリ

一芳賀勝之進ノ碑碣ヲ士寧書レタリ勝之進不人柄ナルヲホメ過タルハ諛墓ノ辞ナルヘシ南郭ハイカニモホメ過サスヨク書ルハ之ナトハ誠ノ有リスカタニ書タルモノナリト君脩語レリ

一南郭幼名ハ幸八トイヘリ晩学ナリ子允ノ方ヘ挨謙ノ来ラレテ咄ニ只今但来ニ逢タレハ但来云保山ノ方江行タレハ保山ハ松平美濃守吉保ナリ致仕ノ後別業ニ居ラレタル処、徂徠行タリ服部幸八詩ヲ出メ見セタリ少シ許判シタル力先頃ニ三度学問ノ咄ヲシタレハ詩スコシタルト及カタシ無双ノキ子ナリトイヘルナリ其年記ヲオスニ南郭三十歳ノ左右ナリト君脩語レリ

一三月四日芙蓉館ニ暇乞ニ至ル仲英ト寛談ス仲英ハ摂州西宮ノ人ナリ安藝国ヘユク時岡山モ通リケルトナリ山水海ナトノ詩ニ入ト歌ニ入トノ景ノイヲ仲英論セラル

一同十日君脩暇乞トテ来訪寛談ス十三経十七史ナト蔵書セシトナリ蔵書ニ駭ニシクナリシトナリ杜氏通典求タルト語レリ

一宝暦五年四月廿九日原田清蔵名直字温夫古師人訪来ル寛談ス三宅文輔ノ友人ナリ又十七八年前東都ニユキテ南郭ニモ屢謁シ會ニモ出ル習ヘニテ別テ心安クシタリ論語ノ注ヲ作リタル由序文ヲ禎ニ

一温夫云朱涯遺文下清書メ私シカヽリシトナリ周易經翼通解ハ
早彫カヽリタリヤカテ出来スヘキ也
一紀州ノ伊藤才藏侯命ニテ五径ノ解出来タチタリ詩書（又正）易春
秋礼記十リ夥シク大部ノ書トナリシナリ
一温夫名物六帖ノ寫本ヲ残ラス取持スカスヘシトイヘリ又日本律モ
有リト也
一大東世語ノ出処ヲ華山院内府殿ヨリ書出シ玉ヘリト温夫語リ
一温夫云東涯ノ唐官抄ハ近衛公ヨリ御サヽハリテ刊行隙トリ
タルトナリ
一岡白駒儒林傳ヲ作リ大友皇子ヲ首トシ近年ノ儒者ニテニ
至ルトナリ贊語ハ韻ヲフミタルモノナリ大東世語ヲコトナシタル書ヲ
白駒作リシト温夫語シリ
一文輔世説觴ヲコトナシテ書ヲ作リシトナリ温夫語シリ
一温夫秘笈ヲ藏書ストイヘリ
一温夫云宋史ノ司馬温公傳殊ノ外面白キ一アノヤウナル傳ハ古今
見スト也
一温夫云千子新論語考雍也篇ニテ寫藏ストナリ明霞稿ハアヽ
リ面白キ文ニ非スト論ナリ又論語考ノ中ニハ尤ナルコトモアリトナリ
又開口新語ニ子ノ曰駒ヲ見オトシタルト也玉屋喜右衛門ハヨキ学者
トクニ是ヲキト温夫云ヘリ
一左傳杜注ヲ誤ハサテノヽ発明多シ左傳句解ハ小部ナレトモ左傳ノ
一宋人ノ説ニ韓柳トセス韓李トナシタルモアリト温夫語シリ

一温夫ノ春臺ノ産語珍ラシケンタル文ナリ又四書知新日錄等
書ナリト云ヘリ制度通モ校合シタルハヨキ本アリシト也
一温夫云今ノ学者経濟ナセハ大方ハ用ニタツマシ熊澤了介書ハト
ウ見テモ道理ハ千古ニ勝レタルト覚ユルト也
一白石ノ江関筆談ハ勝レタル筆語ナリ其後ノ筆談ハサノ〳〵悪シ
ト温夫云ヘリ
一胡氏傳ハ酷吏ヲサバキ孔子ノ本意ニ非レトナリ温夫云ヘリ
一林周介ハ江戸ヨリ仆非ノ刊本出テ序ニサノ〳〵云レタル故門人皆
千リ〳〵ニナリ分レタルト也
一諸子同事異言サテ〳〵題号ヨシト温夫賞セリ
一温夫云羅山文集ハサノ〳〵ナレトモ當時ノ事實ハ碍志ナトニテ
見ルナリ崔亟丞相ノ傳ナトハ成ホトヨク書タリト覚ルナリ
一佐藤五郎左エ門直方モ大石内藏助ヲ非トス大抵春臺ノ論似ヨ
リタリ春臺ノ論ニハ服セスト温夫語レリ
一肥後熊本ノ學校ハ二ノ丸ニ建ラレシ由温夫ノ語ナリ
一堀正超ハ物故セリ甥ノ貞介跡ヲツキシトナリ
一岡千里カ小説精言ノ点ハオンスニシナリトニヘリ又文献考ノ小本
ヲ藏スト温夫語レリ
一経解六百巻ノ中三礼圖ヲ勝レタリトス外ニハ経解ノ中ニ礼記ノ
補正アリイカニモヨキ書ナリト温夫語レリ席上商談トニモノ
ヲ著ニシト語レリ
一四教儀ハ解ノ標音抄ト云物ニテ釋氏ノ大意ヲ知ルト服中行語

レリ廿定後語モ大カメコレヨリ見出シタルヤウ也出定後語ハ珍ラシテ奇書ナリ中行モ評判ナリ

一杜律注解和本ニアリ那夢窓ヨリハ少増タルヤウナリ中行ノ語ニ盍加續集ニハ湯武ヲコナシタル論アリト中行語レリ

一淺見重次郎佐藤五郎左エ門両人岡齋ヘ神道ヲ止ラレヨト異見せシユヘ勘當せシト十ナリ中行語レリ

一正字通ハ殊ノ外ニ字アヤマレリト中行ノ話ナリ

一詩経ノ説約ノ点ハ林文之進父ノ点ナリ羅山ノ同姓ナリ藏書多シ仁齋モ文之進ノ父ト懇ニテ書物多ク見ラレタル也温夫語レリ

一同六年九月十九日三宅子素談スル礼記ハ隨分ニ注ノヨキ物アルカト捜索レトモ見ヘス惕齋ノ筆記モ大全ノ中ヲセンサクシタル二テ也

一元献云明世説ニ点ツケシ人ハ那波九郎左エ門トニ云高家ナリ道円ノ同姓トニリ如何アラン又那波与藏ノ学問アラシ相識ニモアラス左傳ノ新刊ノ校合如何アラントイヘリ

一元献云仁齋ノ孟子古義殊ノ外ヨク出来タリ仁齋孟子一部ニテ何レヲモ押シタルトニヘリ禎カ見ト符合ス

一品字箋ハ頭字カラ引出ス為ニ作レリ康熙字典ノタラヌ処ヲ集メタルヤウナリ然トモ字典ノ了モ出せリ首巻ニテ字ヲヒキヤウニテアリト元献語レリ

一元献云米川伐兵衛ハ殊ノ外ニ古キ人ナリサレトモ著述ハナシ篤行ノ先生ナリト語レリ

一温夫ノ著せル席上腐談ハ隨筆ナレトモサシ見識モアリ岡白駒閑

口新語テ岡子ニ見オトスナリ禎カ見ト同シ六十ニナリテアノヨカシキ咄ヲヨキトセシナリ巻ノ十ナリ又左傳ノ朱申句解ナルホトヨク覚エルト元献云リ

一元献云鵝湖問答イカニモ学部通辨ニ出ス外ノ書ニモ〻ストナリ書影迫衙殿ニアリシヲヒリカニ見シトナリ杜氏通典モアレハ價金三十両モストナリ

一通鑑紀事本末ハ甚ヨキ書ニテ考閲ニヨキト覚ルナリ又閑情寓奇ヲ見レハ風流ナル事ナリ李卓吾トニ然トモ集ヲヨメハ又左様ニモナシ清朝ノ文先コレヨリ外見ル所ナシト又廣輿記志ニテ人ニヨクトリ一ハシタルノナリト元献イヘリ

一元献云史ノ志類ヲ會讀ストナリ唐書ノ志モ字甚誤ルトイヘリ又通鑑ノ書法発明朱子ヲ九原ニ起シタラハアノヤウナリハ元カツカストイヘリ

ルヘキトイヘリ禎カ見ト符合ス又水経モチクヽ見タリ本甚不自由ナリトイヘリ

一韓使聘支ニ有井仲龍明和元年岡山ニ来ル仲龍ハ物叔達ハ始終程朱学ニテ終ラレタリト也

一長澤不怨斎没後其室ヲ守子迪要リキ松江産ニ仕ヘタリ仲龍語リ

一田俊卿ノ長女ハ詩モナリ楷書モヨク書オアル人ナリ一目耽スル由仲美世話ニテ福嶋茂左エ門ノ長子ニ嫁ス福嶋氏甚吝ナル人故其家得ヨラス仲英ノ方ヘヒキ取リテ世話ニセラルヽト也福嶋氏名ヲ子幹トイヘリ

絶句解考證ナトヲモ校行スル其室人スリ出ストナリ

一美仲文集ハ帆丘遺稿トテ十巻計モナリ美仲増上寺門前廣小路ニ家ヲカリ古講ニテアリケルト也大言ノニ云ケレ共南郭ヲハ

赤羽先生ト云ケルト也美作没後文集拵行覚束ナシト仲龍イヘリ

一仲龍云熊本ノ学校ハ二九ニアリ秋玉山専ラコレヲ主ルトナリ

一仲龍云李滄溟尺牘南郭ノ講ヲ聞書ニシタルニ或僧写蔵スカリテカスヘシトナリ人艾蒋園稿ハ服仲英挍訂スト語レリ

一中村深蔵群書總論ヲ著スト十巻アリトナリ板行セスヘキ内長逝春臺刊セラレタル古文孝経ヲモソシルトナリ仲龍語レリ

一物叔達ノ子　ハ才学アリ子貢詩傳ノ字ノ缺ヲ補ヒ板行スヘシト云中ニ没スナリ仲龍語レリ

一明和二年乙酉九月十三日赤穂赤松鴻字国鸞来訪俗称大川良平真男名勲字大業俗称周蔵トニ云国鸞ニ云松園玄達東渡北村可昌會ノアリタルトキ徠翁ノ天狗ノ説ヲ人ノ見セタレハ二人ハ弁駁甚シク東渡一人黙シテアリケレハ二人何トテコレヲ論セラレヌヤトニヘハ東渡人各有所見何ヲニ訛評甚シキヤトニヒテ二人色ヲ変シ與サメタルトナリ

一国鸞ニ礼義疏康熙帝ノ勅撰ナリカスヘシトナリ李龍カ画ノ聖像ノ掛物モカスヘシトニヘリ

一国鸞ハ字子新ノ方ニ行テ初テ学問ヲシタルト也子新艸稿ハ越後ニテ山忠藏トニ人皆アツカリテアリ今忠藏大坂ニ在リトナリ

一子新ハ学問ノ奇僻ナルヲナラス言行トモニ譎激ナルトナリ色ニノ物語ヲ国鸞詳ニ語ラレキ

一史記ノ倉公傳ヌニズ医ノ方ニテモスニストモ也コレハ赤松子医業ヲナシタル人ユヘコノ論アリ大抵ノ場ハ黄蓮解毒湯ナリト後世ニニヘトモ

タシカナル證モナキト国鸞語ヒ

一松岡玄達ハ初周齋門人ナリ後仁齋東涯ニ十四年ツキテ居ラレタルトモ始終朱学ニテスミ名ト国鸞語ヒリ

一管子ハ篠三弥点并タルト十リ国鸞語ヒリ

一藤江平次ハ甚不文ナリ赤穂ニ四十六士ノ碑アリ其文ヲ平介書タリ不成語ナルコトナリト国鸞語ヒリ

一赤穂ノ山上ニ兒嶋備後三郎高徳ノ墓トテ五輪ノ石塔アリ三郎ノ伯父僧ニナリタルカ建タルトヲ傳トナリ太平記ニ記セシニ并合ス国鸞語ナリ

一京師ノ凡月ト云書肆俗語ニヨク通スイロハト云婦人ノイヲ小説ニ識シ刊藏スストナリ国鸞語ヒリ

一毛奇齡ト云清人ノ詩文十帙アリ大家ト見タリト国鸞語ヒリ

一水足平之進ト秋子羽ハ従兄弟ナリ子羽ハ五絶ヲ殊ノ外ニ自負ナリシトナリ肥後侯ノ文学藪震菴ノ子　朱学ナリト又東都ニテ君脩子綿ナトニモ屢国鸞ハ出會セラレシトナリ

一故赤穂侯内匠頭殿ノ士大高源吾カ母ヘ贈リタル書ハ感情アルトナリ又弓足輕ノ某カ商家ヘオクリタル状モアリ誰ニハ憶病モノナト、散ニ書テ有イツレモ後世ニ名ヲ残シタキ心ナリト見エト国鸞語ヒリ

一君脩ニ速ニ約ニカヘルヘシ博洽ハ略備ヒリ文ハ博大ヲ尚ヘシ左ナクノ左氏司馬又孟荀莊ノ談理モナルニシ多ク作ラハ自然ニ趣ヲ生スヘシ詩ハ李于鱗ナリノ出ヲ休ヲキハメテ朝夕諷詠其精華ヲ集ヘシ

一奉壽　吉備世子尊夫人歌

さくらの花や多くの年とるまで

コレハ荷田在満ニ　命アリテ詠セシ処ナリ吉備ハ備前備中備後ヲ分時ノ国名ナリ岩ナスハ般若梨ノ郡ナリ且ナスハ如ノ美山石ナスハ如岩ナリ万葉集ニ二葉ノ松生ツキテ吉備ナル山ノ名トモ成ナントアリオホクモ邑久郡アリ吉備ナル山ノ名ハ備中松山ナリ

一但来曰侍烏帽子ト云モノ何レノ時ヨリ出来タルヤ尋向トモ未詳春臺ノ云ク職人尽ト云モノニ侍烏帽子ヲキタル人皆工商ノタクヒ古キ世ニハイヤシキ人ノキタル物ナルヲ後ニハ士君子ノ冠服ニ成タルヤトイヘリ

一春臺云三弦ノ遥声ヨリ甚キハナシ近頃松平讃岐守殿三弦ノカヒロウビニ葵ノ紋ヲツケ玉フテ殊ニヨク弾ト給フ葵ノ葉ハ御服ノ章ニ然ルヲ鞍ニハツケルトモ鐙ニハツケルヲ見タルナシコレハ鐙ニ有タルヨリモ遥ニヨトリタルナリ無下ニ口惜キナリトゾ云レタルトナリ

一春臺平家物語ノ小松殿教訓ノ段ヲ語ラセテ聞レシニ落涙ニ及ハレシ小松殿ノ詞ニ古ヨリ三公タル人ノ甲冑ヲキタルナシト是吾　邦上世ノアリサマニ見ツベシ今ノ縣官ノ狩ニ股引脚半ニテ出玉ヘルナ冠服ノ有無ハ論スルニモ不及ナケカシキナリ所謂外虎于翰トゾ云ルモノニ人君ノ文雅タモウセタルヤウ也ナゲカシキナリトゾ云ヘリ

一春臺云日本古ヘノ邊備殊ニ東北ニ備ヘタルト見エタリ今ハ西海ノミニ邊備アリモシ清朝女ヒカヨリ北海奥羽ノ邊ヲ窺シニ其備ナキナラン然ルヘカラストイヘリ

一老子ノ趣意ハ天下ヲ治ムルニ非ラス莊子ソレヲ説ノベテ事ニ託メ云リ
老子ハ空理ヲ存ヘルヲ莊子ハ毀ツ寓言せり畢竟莊子ノ主意焉
蹄涔筌ノ二篇ニ説ツクシタリシカレ老子ノ注解ナリ後世老莊ヲ知
ルモノ少シ或ハ養生トシ或ハ心法トシ又佛家ト雙テ視ル尤誤レリ
但莊子カ儒家ヲソシル処寺仲尼ヲ譏ルニアラスシテ孟荀ホノ仁
義ヲ説ク者ヲ譏レリヨッテ其本ヲ推シテ孔子ヲ罪ス然レ𪜈定ニ
仲尼ヲ貶スルニ非ス

一春臺云記事傳墓誌等ニ虚叙實叙ノ二ツアリ夫ハ忠信
恭謹ナリ一事一實ヲアケテ云ハ實叙ナル
ナリアルヒハ其人ノ平生ノ嗜好又ハ事アル時ノ取扱事アル時ニ云タル詞ナ
トニテ一條ニテモ其餘ノ行狀ヲオシテ知ラル、アルニヨヲ實叙ト云故隨
分ニ實叙ナラサレハイカホトホメ立テ虚叙シタリトモシカトタシカニ此人ノカクノ
アリケルトハ云ヿ知レカタキ故實叙ヲ重スル1也誌ト碣トハ文ノ體裁モカハ
レリ誌ハ土中ニ埋ルモノ也葬ニテ三月ニテ葬ル時ハ其内ニハ如何
ヤウニモスヘシ曰 木ハ旋葬ナレハ後ニ埋ム1地ヲ動ス1ヲ忌故シニ
クキナリ世人碣ト墓誌ト同シ1ニ覚エタルハ大ナル謬ナリ徠翁
ノ誌石ハ春臺著サレタリ神戸侯墓碑ヲ書タヘリ十三年目
ニ碑出来タリ下ノ臺二重ノ上ニ碑有碑面ニハ但来物先生之墓
ト篆字ニテホリタリト裏ニ神戸侯ノ文ヲホリタリトナリ

一春臺云加賀国ナトハ葬地ノ山別ニアリ士大夫一構ノ地取リヲシテ
有シト也矢田山トイヘトモ此ハ戸ニセズ井リニシ山トテ葬地ノ山別ニアリ
シナリ

一三年ノ喪ヲ行フ一ハ吾邦ニテハ甚行カタキ一也近キ世ハ五十日ノ忌ヲサヘ待兼テ三七日或ハ五七日ニテ出仕ヲ君ヨリ命セラルヽモアリソレヲ臣タル人モ辱シト思フハ何ソヤアハレ今ニモ衰服ヲヌギテ出仕セヨトノ命有ン時大ニ憂ナケカン人アラハセメテノ一ナルヘキ大カタノ宗ト
ノ一イウ人モナキハナケクニモアマリアル一ナリソレニツキ一ツノ物語アリ三河国
吉田松平豊後守殿ノ側用人ニ禄二百五十石トル人有父ヨリ朱子ノ学ヲ
好テ其人モ専理学ヲ講ス此人東都ニ庵従シタル時父国ニテ終リタリ
俗忌三十五日フリニテ出テ仕ヨト命セラル其夜忽自殺セリ遺書モナシ
有司モ跡式ノ一如何スヘキト思ヘリ春臺門人吉田侯ノ中ニアリシカ
ハ有司其人ヲシテ春臺ノ意ヲ問シム春臺曰サテソレハ平生何ソツ
フヤキタル一ハ無カト問ルイカニモ然リ支配下ノモノニ俗忌ヲスルサル一アル

時ハサソ心外ト思ハレナンナレトモ公用サシツカユル故ニ如此命セラルヽト云一
タトニタリキト語レリ春臺聞テシカレハ彼人ノ自殺ニハ
ヨリナリ今我身ノ上ハテ進退維谷テ命ヲコハ公ノ恐レアル
ト思ヘルナラシナケカシキ一ナラスヤタトヒ跡メ一旦絶セラルヽ
ラレムルニ至ルヘキヤトニレタリ有司其後春臺ノ意ヲ
リトニ

一春臺曰法律ノ一紀州ニハヤリタリ榊原玄輔ナトモ法律家ナリ今縣官
モソレニヘ律ノ一シロシメサレタリ然レトモ律ヲ今ノ封建ノ世ニ行フ一ハ害
アリ日本ノ風俗ニテハヤハリ無学ナル一ノヤウナレハ切テ捨ツルトニ云
ニテスムノニイラヌ筆ノ下ヨリ察セヨトノキハメアルユエ法ヲ下ヨリ察セテ
コノ次ニカヤウ〳〵ノ刑其次ニカヤウ〳〵ノ刑何度ニテハ赦ルトニ云一

一三年ノ喪ヲ行フハ吾邦ニテハ甚行カタキ事也近キ世ハ五十日ノ忌ヲサヘ待煞テ三七日ニテ出仕ヲ君ヨリ命セラルヽモアリソレヲ臣タル人モ辱シト思フハ何ソヤアハレ今ニモ衰服ヲヌギテ出仕セヨトノ命有ン時大ニ憂ナケカン人アラハセメテノ一ナルヘキ大カタノ歎ノ一ツイウ人モナキハナケクニアラスヤ

吉田松平豊後守殿ノ側用人ニ禄二百五十石トル人有父ヨリ朱子ノ学ヲ好テ其人モ専理学ヲ講ス此人東都ニ庵従シタル時父国ニテ終リタリ俗忌三十五日フリニテ出テ仕ヨト命セラル其夜忽自殺セリ遺書モナシ有司モ跡式ノ一如何スヘキト思ヘリ春臺ノ門人吉田侯ノ中ニアリシカハ有司其人ヲシテ春臺ノ意ヲ問シム春臺曰サテソレハ平生何ソツフヤキタルコトハ無カト問ルイカニモ然リ支配下ノモノニ俗忌ヲスルサルコトアル

時ハサソ心外ト思ハレナンナレトモ公用サシソカユル故ニ如此命セラルヽト云コトヲタトヽタリキト語レリ春臺聞テシカレハ彼人ノ自殺ニアラス至リナリ今我身ノ上ハテ進退維谷テ命ヲコフノ恐レアルト思ヘルナラシナケカシキコトナラスヤタトヒ跡メ一旦絶セラルヽトモラレムルニ至ルヘキヤト云レタリ有司其後春臺ノ意ヲリトヽ

一春臺曰法律ノコトハ紀州ニハヤリタリ榊原玄輔ナトモ法律家ナリ今縣官モソレヲヘ律ノコトシロシメサレタリ然レトモ律ヲ今ノ封建ノ世ニ行フハ害アリ日本ノ風俗ニテハヤハリ無肯ナルコトノヤウナレトモ切テ捨ツルトヽ云ニテスムコトニイラヌル筈カラ日本ノキハメアルコトニ法ヲ下ヨリ察シテコノ次ニカヤウ〳〵ノ刑何度ニテハ赦ルトヽ云コトニ

アリト高ヲクリテ一ツモ懲ルコトナシト云ヒ法家ノ恥ナリ諺曰民可使由之云云

一春臺曰姫路侯浜女ヲ得ルニ大宰ノ膳ヲ以テシタニテ礼法ヲ蔑ニスルコト其罪イハン方ナシスヘテ近世諸侯ノ行義無作法ナル心親ノ臣其人ニ非ルカ故ナリ側ノ者咄トキノ者ナト誘ヒテ色ニノ憲徳ニ至ルナリ又小禄ヨリ卒然トシテ諸侯ノ封ヲ嗣タル人隠徳多シ姫路ノ榊原式部大輔殿丹羽左京大夫殿有馬中務大輔殿内藤備後守殿ナトノ類コレナリ其中ニ榊原殿ナトハ不幸ト云ヘシスヘテ游ヒ歩ハ町人処士ナトノ活計所ニテ大名ノ子ヲスルナリ諸侯ハ居ナカラ物ヲ自由ナルニ好テ遊所ヘユクヿハイカナルヿソヤ古ノ礼楽征伐出自天子或ハ諸侯ナトヽ云ヘリ今也礼楽征伐ハ芝居ヨリイツト云ヘシ三線ハ天下ニ禁制スヘキモノナリ淫風ノミナモト也楽ノ箏ナトハカキナラス計リノヿナリ笙ナトモ管ヲヒトツニシテ分タヌヤウニフクヿ

滔楽ハ繁手ナリトカクニ手ノコヽカニ曲ノツヽヤカナルホト面白クメ人ノ心ヲトラカスニヨタヒノ類モ又然リサレトモ今ノ世ニ猿楽ノハヤシ舞ハ雅ナルニ迫レトニ云ヘキ欤

一君脩十歳斗リノ時ヨリ文ヲ自由ニ作レリ十三歳ニテ東都ニ来ル禎カ詩ヲ君脩見テ忽祥詩忘ヲツクサルヿ然ルヘカラズ天下ニ無雙ノ人物トナルヘキ器ニテモハヤ詩ナトハコノ位ニテ置タルソヨケレトニシトテ知言ナリト春臺語ラレケルトナリ

一瀧弥八ハ長門ノ大夫毛利筑後ノ家臣ナリ海西第一ノオト春臺称セラレタリ殊ニ諄諄厚ノ人ナリトナリ

一春臺云水戸義公備烈ニハ藩国中ニ勝レタル大豪傑ノ人ニ

ナリ烈公ナトハ燕昭王モ未ダ君ト云ヘキ也　烈公モ亦国家創業ノ
時ニアタリタマヘハ必礼無ク作リタマフヘキニトニヤレケルトナリ
一徠翁軍法不審書ニ荅ラレタル水戸ノ支封大学頭ノ大夫岡田
彦左エ門ナリ則徠翁ノ門人ナリ
一ナルベシ物語ハ徠翁ノムタカキノ書ツケアリシヲ何分ナルベシ物語ト名
ヲ付タリ又板行ニモ出タルユヘ萩生三十郎ヨリ町奉行ヘ面ヲ板木
ヲウチ破リタリ先年上州新田ノ辺古塚ヲアハキ古語ヲ縣官ニ奉リシ
トアリシニ其時光堂ノ故事ヲ　聞召サレシヨシ三十郎ニ　命セラレ
彼物語ノ中光堂ノ一條ヲ書テ奉リタルトナリ
一木村弥十郎ハ　西御丸御廣式御用人ナリコノ人国初戦国事
跡ヲクハシク唫味セラレ武徳編年集成ト云書ヲ著シ加納遠江守

殿ヲ以テ献セリ　神祖一世ノ日記ナリ極ク吟味ツヨリ明白ナル
書ナリ春臺序ヲ書シナリ則春臺其序ヲ自書テ贈ラレ
シナリ井伊直政ヲ兵部少輔ト申タルハ天正十年ノ頃ヨリナリ此ノ木村
氏ヘ御尋問アリシカ其後江州竹生嶋ノ祠ニ直政ノ文書アリシカ御取
ヨセアリシニ天正十年兵部少輔トアリテ初メ言上セシ処ト符合ストテ其写ヲ
賜リシトナリ又編年集成献セシ時御褒美アリト春臺語ラレシヲ
一春臺ハ其算数ノ理ヲ窮ラレタリ中華ヨリ来レル書ニ算学統宗
筭学啓蒙ヨリヨキハナシ日本ノ算書ハ古今筭法ヨリヨキハナシ筭ヲ以
テスルニハ其本ナク筭盤ヲ以テ交ルニハ捷徑ニテ実ハ大ナル物ハ盤ニハ
ナラス奥刀二木松　礒、ヌ苔兵衛ハ盤ノ名人ナリ岡疑抄ノ作者ナ
盤ニテ如何ヤウノコトモシツクセルヲコレハ格別ノ伎藝ナリ中根元珪ハ

実ニ数学ニハ妙ヲ得ル人ト也

一平安ノ儒者宇津宮ヒノ的日本人物史ヲ著シテ其中ニ中川瀬兵衛清秀ヲ切支丹方千ノ人ナリト書タリヨツテ中川氏ノ有司　官ヘコトハリテ板行ヲ絶シ由的ハ別条ナシ後由的吉川氏ニ仕シトナリ

一徂来曰日本ニ節制ノ軍法ナシ皆武士ノハタラキヨリ出テ鈐録ヲ著ケルト雖モ和流ノ軍法ニ曽テナキヲ著せり春臺ノ詰ナリ

一相馬戻ノ家士ハ武ノハケシキヲ以テ称ス毎年六月七日牛頭天皇ノ祭礼ノ日野駒ヲ取ルトアリ此日家中七倫ニシテ甲冑ヲキテ出ル嚴重ナルコトナリ其取リシ駒ヲ直ニ天王ノ祠ヘ神馬ニ献せラルヨツテ家之紋トナル古来ヨリノ例ナリシトソロヒタリ近年常陸奥州ノ海上ニ唐船ノ来リ久ハ其不備ヲ伺ニヤ心モトナシ古代ハ蝦夷海上コトノ外猛カタカリシカ今ハ左モナキト聞ユ南蝦夷ハ松前ニ接ス北蝦夷ハ女直靺鞨ナトニ接ス羽州ノ庄内ノ封地酒田ナトハ東国ノ地ナルニ北ハ出ハリ久処ニテ佐渡ノ通ヨリモ北ナルヘシト思ハル佐渡浦又酒田ナトニ石ノ矢ノ根トイフモノアリ天造ノモノニ石ノハタヘハ火ウチ石ノ如ク木葉形モ種々多シ大小異同アレトモトカク筥入ノ所ハカリ石ヲニカケハ至極之鏃トナル古ノ爾慎ノ矢ナトコノ類ナリコレ北狄ニ近キ證ナリ庄内辺ノ大夫水野明卿ニ遇備ノ事ヲ尋ラレシハコ　因テナリ明卿禎ニノ鏃ヲ携乃テヲクラレタルナリ

一春臺曰関東ニ馬多シ今モ農民モ牛耕ナシニナ馬ナリ少シ富ル民ハ馬ノ五匹三匹乃至十匹ニ至ル是ヲ以テ知ヘシ昔ノ秩父和田ナトヲ

今ノ大名ノ如ク思ヘルハ誤也ヤハリ大百姓ノ如イナリ其時代ハ関東而已ニカキラス上方ニモ平家一門一谷ナトニテ皆ヨク馬ヲ乗ラレタリ敦盛若年ニテ海ヘ乗入タルヲ見ルヘシ今時ヨリ見レハ武ハ盛ナリトイヘシ馬ヲ乗ルニ昔ハニナ牧士ナトノ乗ヤウニテ野カケニ乗リタル故関東ヨリ上カタヘ乗ツメテモ馬ツカレス牧士今モ小金ニアリ

縣官ヨリ俸米賜リ帯刀ス平日ハ農民ノ如クサテ野駒取ノ時出テトルナリ小金ノ牧ハ下總ナリ三四里四方カリセコニ立テ野駒ヲ追出ス牧士ハ馬ニノリテ入チカヘヘ勢子ノ物廻リヨクルヘト乗廻ス次第ニセヘ乗廻リ追ヒセノ所輪ヲ乗詰ル朝皆ヘ自分ノ家ヨリ二三里モ乗来リ大方昼刻ニテダク野カケニ輪ヲ乗ルニ馬少モツカレス息モセス春臺モ見ラレシトナリ先年小出侯ノ公子ナト馬ヲ嗜好テ牧ヘヘ

二ナリテノリ玉ヘリ松平專ノ歩人紀列家臣ナリ十トモ乗テ見ラレシルニ馬ヲ乗倒セリ牧士サ云ツルヲトイヘリ牧士ノ馬ハ平生荷馬ニモスル飼料ハ草ナリソレユヘヤセテ都下ノ馬トハクラヘカタシサレトモ健ナリノ名ノ通リ也牧士ヲ預リシ人ハワタヌキ某トゾトナリ

一春臺曰子曰三子以我為隠乎ゾ是ハ聖人ノ行ハ礼ナリ不言之教トハ礼ノ一ナリコレ丘ナリト是丘所以為丘ノト云心ナリ聖人ノ教ハ詩書執礼ナリ中ニモ詩書ハ言ナリ言ニハ尽サルヿモナラヌナリ鶴林王露ニ山谷トアリ礼ハ口サナリ口サニハ残スモ尽サルヿモナラヌナリ今時ノクヽレタル腐儒ノヿ簡ニハ佛陰トコノ章ノ句荅ノヿアリト及サルヿナリ此ヿ面白ク思ヒ名ハコソ羅大経モ記シ置タルナラメ

一春臺曰以四教此段尓儒ナラハ忠信文行ナトゾ云カヘタキナルヘシ

文ノ字ヲ先ヘ出スヿハ師ノ教ヘヲ自慢ナトノヿ也畢竟文アル故
君子ナリ文ナクハ只忠信ノ人ナリ未免為(鄙)人○此章但来ノ發明面白
シコヽニ有学而篇ニ第子入則孝出則弟行有餘力則以学文
トアルト違ト云不審ナリ学而ニハ第子トアル故几家ノ内ニテリ
テノヿアリコノ章ハ孔門ノ教ヲナス上ノヿナリ
一釣而不綱此綱字徠翁ハ網ノ字誤ナリト云リ春臺曰ナルホト美ハ
明ナリ然トモ陸徳明音釋ニ音剛トアリ字相似テ〻キラハシキ故陸
氏モ明ニ剛ト音シタルナレハ定テ古来ヨリノ誤ナルヘシソレ故綱ト改ス
トナリ
一春臺曰莫所ノ二字徠翁好テ用ラル無有ト莫有トハ少シ意
タカフヿナリト云トモ徠翁ハ莫無ナリトイヒタリ莫有ハ左傳ノ中ニ
所アリ莫有戦心ナト書タルハ莫ノ字ニハ下ノ意アル故タヽ戦フト云
カアラサルナリ無有戦心ト書タルハ根カラ何モナキナリ此タカヒヽ文
選ノ中檄文ニ莫所ノ字アリ徠翁遺文校訂ノ時モ此ヿヲ
有タルトナリ
一寛保二年正月廿二三日ノ頃コリ琴星見ル夜半東北ニ見ル二月ニ至テ稍
ウスク中旬ニハ見エス西川忠次郎ハ挽槍トヽ云入江ハサヽ容トヽ云
彗ニテハナシ字ナリトヽ云人アリ然トモ琴モ字モ同シキニヤ春秋二百
四年ノ中ニ字三度見エタリ漢書ノ劉向カ傳ニハ彗トシルセリ古ヘハ
別タサリシト見ユ
一天経或問ニ九重天ノ一アリモトヨリ中華ノ天文ニナキヿナリ第一常
静天第二宗動天第次七曜天ナリ此常静天ニ天主ノイヘスト

云ヘキ為ニ設ケタル説ナラン明律ニハ私ニ天文ヲ学フヲ禁ス日本ニハ此
法ナシ

一正朔ノ事殷湯ノ正朔ヲ改王ノ事聖人ノ智慧ニテ神道ナリ
民ノ耳目ヲツケカヘサスル為ナリスベテ代ノカハリメニハ民皆先代之
事ニ慣テ新政ヲ皆用サルモノ也夏ハ唐虞已来ノ法ニテ譲ヲ以
テトリタル天下ナル故先代ノ法ヲ改メズソノマヽ用ラレタリ殷湯ハ正シク
征伐ヲ以テ天下ヲ取タマヒタル故此カハリメニ礼楽制度ヲ建カヘタマ
ハズシテハ前代ノ法ニ因循スルノミナルヘシ前代ノ法ト云モ元来百年
人ノ制ナレトモタトヘハ桀カ時ニ至テハ禹ノ法度ハトリ失テ礼
楽モ崩レタル故ソレヲ因循シテハ万民ヲ安シ永久ヲ保ツ
アタハズ然トモ右ニ云ヒトク民ハ当分ニハ新政ヲ用サルヘカラス先

初ニ民ノ耳目ヲ付カヘン為ニ正朔ヲ改メ服色ヲ易ル也正朔ヲ改ル
ニハ後代ノ簡ニテ云ハアサハカナルニノヤウナレ共先此正朔ヲ改ル
カラハ何モカモ改替サルニハ及キトス云コトヲ天下ニ示ス為ナリ地道
開丑ト云ニ何ノワケモ無ニナラン衆愚ヲスカスルノ術ナリ夫ヘハ殷湯ニ
正朔ヲ改玉フハ今迫夏ノ世ノ人道ヲ用タルヘキ寅ヲ以テ正朔トス是ヲ
地道ヲ用ベキ時節ナリ地ハ開丑ヨリ正朔ヲカヘタマヒタルヘシ武王湯王ニ
テ正朔ヲカヘタマヒタルヘシ武王ハ湯王ヲ手本ニシテ又コノ度ハ天道ヲ用ヘ
キ節ナリトノ玉ヒタルナラン周ハ子ノ月ヲ正朔トスルユヘ周ノ正月ハ夏ノ
十月ナリオモテノキノ二ハ皆コレヲ用ルユヘ王公ナトノ言語又史策ニ
書スルニハ時王ノ正ヲ用ルニ云ニ及ス但シ民間ニテ内シヤウムキニハヤハリ
殷周ノ世ニモ夏ノ正ヲ用タリト見タリ夏ノ正ハ堯舜ノ定メタマヒタル

法ニテ万世不易ナルヘシノ之右ノ如ク公私ノタカヒアラハ今ノ世金幣ト
トニハアルナリオシ出シテハ時王ノ制ノ正朔ヲ奉スル民間ニテ農業ノ
時候ヲタカヘシキ為ニハ冬正ニ超ルヘキユエヤハリ私言ニハ聞ナレ冬ノ
時ヲスタルト見エタリ春王正月ノ論ハ朱子ナトモ千歳不決ノ論ナトヽ云
ハレキ其外誰モ決スル人ナシ只東渡ノ辨其大意ヲ得タリ少シ論シ
タラヌヤウナリ

一伊豫松山大高季明ト云人適従錄ヲ著シテ仁斎ヲ毀ル一門生此
書ヲ携テ仁齋ニ見セケレハ笑ハレテ少シノ怒リモアラス門人ノ云先生ニ
書ヲ辨セヨ先生モシ不辨ハ是ヲ辨シ之ト云仁斎ノ白我非彼是ヲ
我過ヲ改ベシ彼非ナリトテ何ソ足ン辨ニ荅ラレシカハ門人モ大量ナルヲ
感服シテ退シトナリコレ享保甲寅八月ノ事ナリトナリ

亡子保ノ字誤ナルカ可疑

一井仲龍云大白月ニ入ル事天学ノ業ヲウケタル老師両度見タリト
云リ此頃月晩ノ昕ニサシ見エタリ右ノ老師云天経或問ハ精キ
書ニテ天学ノ書ニテハ古人ノ朱発事多シ然トモ又誤モ多カリシ
金水ノ二星ノ天大陰天ヨリ上ナリト云説右ノ通大白月ノ下ニ
見タレハ或問ノ虚説タルヿ明ナリトイヘリ先夜ニサシ見タルニテ老
師アサムカサルヲ知リヌト語レリ于時明和七年庚寅六月ナリコノ老師ノ
姓大場氏名景則字　号雷淵講諫信家之兵法俗称新藏金蛾
井卿ノ従父ナリ

一孔雀樓筆記ニ禹貢ハヨノヤスキ物ナレトモ此理ヲシラスシテ九ツカヌ人多シ
ト云ヿヲ高田維亨ニ如何聞タルト問シニ大略ニテ云ハ直叙ノ書ユエ
一通リヨメ易シシカシ地理字義等ヲシヒテセンサクスレハ解カタシ是モ

左傳ヲアテ云タルコトナレヘシ左傳ハ文長キ故一句一段トナシテモ大旨ノ訢初学ノ人ニテハ上スヘリニナルヘシト君錦荅ラレシトナリ

一国寶云易全ト筮書ナレトモ夫子十翼ニ就此寓教タリ歐陽伊東氏十翼非聖作トハシレタカヒ難シナレトモ一体ニテ合点ユカス筮法モ本文ハカリヨニテス一ス朱子ノ啓蒙ニテ一通リスムサレトモ正當爻ナルヘシヤイブカシ考変占七條外ハ左氏国語ニテ拠モアリサレ尤二爻四爻変ハ朱子推量ノ説ニテ未定春臺易占ニテハ六爻皆不変一爻変ナリ爻変六爻爻変只四ハカリ取用三四変ハ朱子ノ説無謂ト云ヒ不従別説ナシ按ルニ二爻変ハ国語ニアリコレニテ済ヘシ二爻変四爻変モ古法アルヘキナリ考ヘキコト春臺ハ甲王相ヨトリ用ラレシト見エ断易天機ホ甚鄙俗信用シカタシ何ぞ易訂詁ニ掛ケ久説朱子ト異ナリ甚尤ナレトモ大抵ニアツカラス何分全体スヘサル章句注釈モアヤマリ有ヘシ精粋ノニ九トイフコトナルヘシ如何

一諸家皆分精気為二鄙見ニハ對遊魂ノ精粋ノ——

一奥州伊達郡高子村熊坂宇右エ門云名邦字シノブヲ屋後ノ山ノ谷前子彦取リテ園中泉石ノ間ニ植ルニ宜シトナリ禎ニ此ノシノブヲ根ホリニシテ贈リ又多賀ノ古城ノ凡土中ニ埋リシヲホリ出シテ贈レリ誠ニ石ノ如ク硯ニ用ヒ古雅ナルモノニ高子邑伊達郡ニ屬スレトモ古ハ伊達郡岩瀬郡信夫郡ヲ合テ信夫国ト云国府モアリソノ一国造本紀ニアリトニテ和名抄ニアリト伊達郡ニ古信夫ナトニテ詩中ニ用ヘシトニヨリ

一春臺曰字彙洪武正韻ニ拠テ韻ノ数少シ大ニカナリ今ノ華音ニ合ナリ故ハ今ノ華音ハ皆ニシワリ音古ノ韻ニ非スニヘナリ古ノ韻

然ラズソレニ卫陸徳明カ釋文古今韻會增補韻會ナトハ古韻ナ
玉篇モ古ヒ皆日本ノ古ノ音ニ合ヒソレ故古書ヲ注スルニ六字彙ニテハ
ヨクラス玉篇カ陸徳明韻會ニテ音注ヲスヘシトニ文雄京師ニ寺住持ナリモ韻学
ハ全ク春臺ノ教ニヨラレタルナリ小篠嚢龍語ヒリ

一伊勢松坂本居宣長古事記傳十五巻ヲ著スル此中首巻ヲ総ニ聖
人ノ道吾　日本ノ道ト異ナルノ論アリ日本紀ハ全ク漢字ニ潤色ノ
タルニテ古事記ヲ第一トスルトナリ

一尾張　神祖ノ詞官吉見左京大夫源姓名幸和正四位下ニ余ス
尾刕殊ニ真餘封地ノ神職ノ司ニ任ス代ニ寺社奉行ト同ク司ルト
ナリコノ人歌ノ古キヲ好テ八十八歳ノ時大坂ニ至リ契沖ニ見ヘ門人
ニシテヲ請フ契沖辞スレトモ固ク請フ自ラ側ノ見臺ヲトリテ契沖ノ
前ニ置テ書ノ講ヲ聞ケリ契仲モ大ニ悦テ著述ノ書ヲユツリタルト云
嚢龍語ヒリ又吉見氏増益辨ト抄俗解一冊百六十張ヲ著スト部無
倶ノ詐偽妄計ホヲ具ニ論弁ス嚢龍携ノ来テ見セラレタリ

一神祇破偽真問答一巻ヲ著ス白川殿ノ学頭白井帯刀源雅胤ノ著
述ナリコノ書モト部家ノ偽妄ヲ論シ無倶ノ妄詐ヲ糺セリ小篠
生見セラレキ

一僧契沖諱ハ空心本姓下川氏祖父元宜加藤清正ニ仕ヘリ父ヲ諱元全ト
イヘリ十三歳ニテ僧トナリ大東ノ典籍ヲ博覧ナリ殊ニ万葉集ノ
ヨク治ム西山義公ノ萬葉集纂注ヲ作ラセタマヒシ時分固請シケレ
トモ固辞シテ不就於是乎撰代匠記以献之總釋副ストナリ義公
嘉ス八善解古言善釋古歌乃餽白金千両綿三十匹以展謝ス

則髄貧乏一銭尺帛ヲモ身ニ随ストナリ元禄十四年ニ没ス晩ニ想
州妙法寺ノ住持トナリ後退隠シテ大坂ノ東郊円珠庵ニ住ス著述之
書漫唫集二十巻厚顔抄改観抄勝地吐懐篇二巻(各)勢語臆
断四巻流註拾遺名所補翼各八巻類字名所集七巻和字
正濫五巻河社二巻代匝記二十巻總釋二巻古今餘(抄カ)十
巻沖為人寛厚謙恭愛人行年六十二ニテ没ス五井純碑銘ヲ
作レリ又シツタニヲ学テ韻学ヨリ字音ノ合サル事ヲ吟味シテ国
字ノ訓詁ニカヽリ万葉ノカナニカヽリ古キ書ヲヨヒテ日本記古事
記等ニ及ヘリ又五部書説辨ヲ著シ宝基本記倭姫世記等
ノ詐亡ヲ論セリ

一羽倉斎宮ハ京師愛宕山ノ人ナリ此山ノ祠官ニハアラス古ヘヨリ
三家アリテ此山ニ属セシ家系古キ人ナリ羽倉三家中ノ一人ナリ契沖
ノモトニ至ル契沖病褥ニ謁見ス沖悦テ吾二十年ノ学ナリトテ著
述ノ書ヲ羽倉ニユツル羽倉男子ナシ男ノ東之進在満ヲ養子トス
斎宮ノ女一人アリ蒼生トイヘリ(此女松蔭日記ヲ著ス)今京都ノ処士
和歌ヲ講ス(柳澤家ノ事ニアラス)
一岡部衛士幼名三四ト云遠州伊場村岡部邑人ナリ濱松ノ本陣梅谷
市左門ノ養子トナリシカ諸侯家臣僕隷ナトニ俯伏スヲイヤヽヽシテ
養父ト順ナラスシテ彼家ヲ去ルモトヨリ冷泉家ノ門人ナリ後斎宮ニ学ヒ
加茂真淵トイフハ衛士ノコトナリ在満ト真淵ト二人ニテ百人一首古
説ヲ作真淵ハ六七年前ニ没ス

一大坂懐徳堂ハ梶木町淀屋橋筋東江入ル北側ニアリ懐徳書院

此説非ニ松蔭日記正親町大納言殿ノ女ニテ憲廟ヘミヤツカヘノ人ニテソレヲ柳澤保明朝臣ニ賜リシカ作ナリ一ノ女ハ今ノ柳澤伊賀守殿柳澤信濃守殿二家ノ元祖ヲ産レタルナリ寛政ノ己加定章記

…云額アリコレハ三宅石菴ノ書ナリト云中井忠藏諱　ノ教授ノ処ナリ宮ヨリコノ地拜領セシトナリ今忠藏ノ男善太名積善諸生ヲ教授ス善太字子慶号竹山善ズノ弟名積德俗称德治コレハ別宅ニテ長堀ヘニ住居ストナリ園太瑾語レリ

一三宅石菴ノ学問ハ俗間ニヌ卫学問トイヘリ其言ニ云ク頭ハ朱子ヽ尻ハ陽明其鳴々声仁斎ニ似タリ象山ノアタリカケヘワルト香川大沖ノ語リケルナリ

一鈴木秋敬曰徂来先生樂律ノ説卓見多シ然信用シカタキモ大タ少カラス其琴学大意抄五調ヲ説レシヲ見ルニ稗編并類宮礼樂疏ナトニ載タル正宮緩角緊羽緩宮清商ノ五調ヲ取出シテコレヲ琴ノ五調トシテ古代ノ五調ニアテ又吾邦樂家ノ五調ニモ配當シテサカシニ其説ヲ主張セラレタリコレ大ナル誤ナリ何ニトナレハ正宮ノ一調ハ一コトニ正調ナレトモ緩角緊羽緩宮清高ノ諸調ハミナ正宮調ニツイテ或ハ角ヲ二ツメ或ハ羽ヲシテメナトシテカヘタル調ニテ即正宮調ノ別調ナリソレユヘコノ諸調ヲイツレノ琴テ書ニモミナ外調ノ部ニ載タリ其角羽宮商ノ名ハ律ヲ變シタル絃名ヲ以テ命シタルモノニテ均主ヲ律名ヲ稱スルニハアラス故ニ此諸調ヲ正宮調ニナラヘテ正調ノ五調トスヘカラサル丁分明ナリ又吾邦樂家ノ五調ニアテ…テ順八逆六ノ法ヲ以テアハセントセラレシカ此常法ニテ均主ノリカヘル時ハ合サルユヘ均主ヲハナレテロキヲリカソヘ強ヒテ配當セリ先イフレノ調ニトモ主律ヲサシオキ他律ヨリツヒスルトイフコトハナキコトナリダトヘハ宮音ハ宮ヨリ律ヲオコシテツヒスル故コレヲ宮音トイヒカル…

或角ヨリオコシツヒスル時ハ即コレ高音角音ニテ宮音音ニハアラハ
此ヤウナル牽強杜撰甚多シ是全ク宮商角徴羽五舞ノコトニ
クハシカラサルユヘナリ五調八樂ノ大本ヲアヤマリテハ其餘ハ言ニタラ
スト国鷁聞タルト語レリ

一阿刕古田ノ郷垣原邑ニ　土御門帝ノ御陵アリ外ニ土ヲ盛ツキ
セシ中ニ石室見ユル青キ石ノ碑アリ文字數殊ノ外多シ然レモ
キヘテ不可讀トアリ又讃刕白峯ニ　崇徳帝ノ御陵アリ今ニ
地ヒタト動ストヽ　崇徳帝ノ怒ラセ玉フト云傳フ度ヽ聞ク十リ
ノ土佐ノ畑ハ土刕ノ東ニテ阿刕ニ近シ土佐ノ南ノ海辺ハ九十里
ホトナリトヽ云阿波モ讃岐モ知行高ハ同シケレトモ阿刕ノ土地厚
サハ讃刕ニ三倍ナリトC長尾ノ城大平記ニ見ヘタリ殊ノ外ニ嶮岨ナルヨシ讃刕ハ

南北ニテ廣キ所五六里東西ハ二十里余モアリト備中子位邑能
昌院ハ讃刕ノ人ナリシカハ詳ニ語レリ

一京都ニテ借屋カリノ人金ヲヒロヒタルヲ家主ワレニモ分得サセヨトテ
訟ニ及フ板倉周防守殿判断シテ家主ワカチ取ルヘキヤウナシトサリ
家ヌシ聞テ父伊賀君ナラハ斯クハアルマシクト云ケルヲ聞テ父ノモトニ
行テシカ〳〵ノ事如何御計ヒアランヤト向ルニソレハ時宜ニモヨルコト
ナリヲ知ラスト答ラルシヒテ向レシカハ其時伊賀守殿云ク屋
カリタル人悪事ヲ仕ダシタル時其家主ハ少モ事ニアツカラサル制
度ニテアルラメ　其通りナラハ今ノ判断可然ヲ所司タリシトキハ
不然必借屋カリノ人事ヲ仕出シタルトキ其家主其マヽニ奔走シキ
然レハヨキマヽニモ家主アツカルヘキヿナリトニレシカハ周防殿判断

カヘラレシトナリ

一五山ノ長老輪番ニテ壹人ツヽ三年カハリニ對馬ニツカル府中屋
シキアリテ住居ス宗氏ヨリノ二カナヒナリ又書記一人朝鮮ニ行テ
居ルヘシ使来聘ノ時長老ツキ添テ又京ヨリ長老一人出迎
関東ヘハ長老二人行キ戻リハ大坂ニテ二人附添ナリ京都ニ出
迎ル長老ハカリ送リテ對馬ニ至リ此聘事ニアツカリタル長老
ヘハ一世録百石ツヽ縣官ヨリ下サル書簡往復ノ一室町家ノ
時カリタル古例ナリ故ニ徳川家モ此例ヲ用サセラル長老六十
歳ナレハ對馬在番免サレシトヘ釋江西ノ話ナリ又江西肥前
平戸ニ遊シトキ高山ニ登リテミルニ能ハレタル時ハ朝鮮ノ山ヲ
見ルトナリ

一癸未ノ春朝鮮ノ使貢司仲挙玄甲申来聘ノ一ニテ對州ニ来リ
大夫多田主計ト用談ヲハリカヘル時主計詩ヲ送ケレハ挙玄詩
フルメカシトタハフレテ和歌ヲヨコタリ
アスハ又誰ナカラシモシラヌ身ニ友アル今日ノ日コソヨシケレ
此物語播州室津ノ惣年寄吉田彦太夫トイヘルモノニ對馬人ノ
語リケルト彦太夫生窓ニ来リテ云ケルトナリ
一本阿彌好悦近衛応山公ノモトニ昵近ス公曰義光正ノ刀
ヲ此ヘミルニ正宗大二ナリト好悦ハ義光スクレタルト論スレトモ公用ナ
ハ程ヘテ好悦申スハ家隆ノ歌ニ朝日サス高根ノ深雪空ハレテ
立モ及ヌ富士川キリトイフハ如何公曰スクレテ面白シ田子ノ浦ニ打出
ツミレハ白妙ノトヽ云赤人歌ハ如何公曰面白フハナケレトモタケ高ノ

…ヶ悦申スハ朝日サスノ歌ノ面白キハ正宗ノ刀ノタテナル処ナリ田子ノ子出テミレハトニヌタケノタカキハ義光ノキタヒナリトハ公大ニ允ナリト心服シ玉フトゝ

一安永八年七月土藩儒官戸部助五郎谷良熙字原山号木斎君命ヲ以テ勃列豊宮崎ノ文庫ニユキ又京師モ至ル路周山ニ過リ尺ヵ敝舎ニ来ル予故アリテ相見セスヨッテ筆談ニテ問ニ山崎圖斎小兒ノ時比叡山ニアリシヨシ花園ノ中大通院ノ住持湘南（湘南土列ノ開主忠義朝臣ノ第ナリ）ノ第子トセラル土列ニモ湘南同行シテ来リ土列ノ吸江寺ニ（此寺モ湘南ノツカレシカ勤学甚精ヲ出シ他人及（住職アリシカリシト也英発ヲ世ノ人モ称シケルトナリ此須谷時仲（モト一向宗ノ僧寺ノ住持タリシカ聖人ノ道ヲ尊ヒ土列ノ家中ヘモ経学ヲスヽメ後遂俗ス土列甲浦ニ到ル）大夫野中傳右ヱ門（諱良継号蕉山ナト従学ス時仲ノ子谷三助（斎圖斎此須絶蔵主トイヘリ傳右ヱ門三人同志ニメ研究セシトナリ圖斎モ博覧ニテ先王ノ道、尊ヒ還俗ノ志アリシカヽ傳右ヱ門小倉彌右ヱ門（三省ナト勧テ還俗シ山崎嘉左ヱ門敬義ト改名シテ京師ニ至ルトナリ傳右ヱ門禄一万石故アリテ此家除ストナリ土列ノ法令ハミナ傳右ヱ門カ定メトナリ国人モ大ニ服セシトナリ二斎諸侯ニ客事シ後稲葉石見守殿ノ招ニテ彼家ニ侍講シ石州事アリシ後ハ伊豫ノ某侯ヘ仕フトナリ

一土列ニテ鯨ヲ取リシ一ノ向フニ土刀ニテ東ノ海辺ニツ推名崎濱淀津西ノ海辺ハ宍浜津ニテトリシトモ皆紀ノ熊野ナトニテ取リシト同一ナリ鯨方ノ有司ノ士両人東西ノ処ニヲ代リ〳〵ニ司リトゝ

一二刀ノ具足挽ノ一ヲ問ニ正月十三日ナリコノ時大夫万石以上三人

不邑住居セシカ年賀ニ出府シ直ニ二十三日迫在府スト十リ三人ノ
大夫土居取ト称スル者一深尾因幡禄一万石サカワノ領主ナリ高智
ヨリ八里算ニ山内源蔵禄八千石宿毛ノ領主ナリ高智ヨリ西四拾
里算ニ五藤外記禄二千石アキノ領主ナリ高智ヨリ東拾里
但サカワ宿毛ノ二所ハ全ク城郭ナリアキハ城郭ニハアラス正ト云
ハ、乗初アリ土佐属モ甲冑シテ玉ヒ国士モ残リナク甲冑ニテ大ニノ
門ニテ勢揃アリ軍勢残ラス武者押シタリ郷士八百騎アリ各
新開ノ田地三十石ツヽヲ賜ルユヘ長曽我部氏ノ家人ノ子孫ナリ
郷士モ家老ノ組ニ属セラレシトナリコレモ十一日ハ武者押ニ加ル〇
土州ハ東西百里南北三十里又ハ二十里十五里ナル処モアリト
ナリ国士ノ禄寛永中以前ヨリ仕シ家ハ地方ニテ知行ス家ニヨリ
六ツモノナリヨリ九ツ成ニ至ルマテ人アリ寛永中已後ニ出シ家ハ蔵前
ニテ四ツ成ヨリ下サルトナリ

一紀貫之ノ土佐守ニ任セラレテアリシ地国府邑トテアリ今其屋シキ
アトニ石スヘノ二残リシト土佐日記ニアリシ地名今ニ存スト也

一土州ハ南海ニ臨ム国ユヘ異国船ノ来リシニ守衛ノ備ナリ南海ヘ至テ
荒海ユヘ古ヨリ船軍ホノコトハ聞ヘス宝永中ニ琉球人漂着ス宝暦
中ニモ又琉球人漂着ス此時ハ薩州ヘ送ラレシトナリ往ニ帰ニ来
船ノ漂着アリ近年モ紅毛船来リシカ早速帰リシ
詳ニ知レス戸部氏近年漂着セシ琉球人ニ會テ中山傳信録ヲ
彼ノ国ノコトヲ問ニ十二九算合ス南嶋志ニハ少シツヽノ違アリト徠翁ノ
琉球聘事記ニ彼国歌ヲ注セラレシニモ少シツヽノ違アリト覚ユトナリ

一ノ部氏ノ門人細川半藏名頼直字方卿号丘陵戸部氏ト同行シテ予カ敝舎ニ来ルコノ人天学ニ精シキ人ナリシカ天学ノ書ノ了ヲ筆談セシニ西洋ノ暦数ハ甚聖人ノ道ニ背タル了ナリ併天経或ハ問ノ附録天学名目抄等ニシルセシ如ク紅毛ノ道ハ不可取暦数可取トアル如ニ西洋及タル所四十二国中ナキ了ナリ一ツテ西洋流ヲ学ヲハ餘國ノ算暦ハ取ルニタラス天経或問ハスヘテ天学ノ大理ヲ解キシ書ナリシカハ暦術ノ詮議ハアラメナリ○土刕ニテ暦学ヲ始テセシハ谷丹三郎ナリコレハ東都ノ天文生渋川氏ニ学フトナリ谷氏ノ門人川谷貞六トイヘル人アリ南海暦談授時改旋暦書等ヲ著シ又起元演段トイウ等書ヲ著ス其門人佐田武次郎昌細川生ノ師ナリ武次郎傍通暦五緯暦天元等法等ヲ著ス凡五十巻未業ヲ卒ヘス四十巻ハ出来セシトナリ

一叔卿ノ云京師天文筭術ニ精シキハ村井中漸曽我部式村林勘解由西村千介小西左仲ナト今現在ノ人ナリ中根太右エ門元珪ハ門人三千人往古ヨリ珍シキ人ト今ニ称セリ皇和通暦古暦使覧其外著述多シ太右エ門子ヲ安之丞トイヘリ此人天文筭術ニ達セシトナリ新七ト云妹一人アリ此女天文筭術ニ達セシトナリ新七ノ子孫今ニ京師ノ銀座ノ役人ナリ元珪ノ工夫セシ暑経天美ト云モノアリ天運ノ理ヲ試ミルモノナリ此暑其餘ノ著述此孫女ノモトニアリトナリ

一戒卿云寫天儀ト名ヲ付シ暑京師遊学中ニ工夫シヲハ土佐藩

ニ瞰シ今一ツハ柳原大納言殿好せ給ヒシカハ献セシトナリ又寫天儀記四巻ヲ著ス寫天儀大キサハ高七尺見升横四尺幅二尺二寸アリコレハ圖ヲ著シテ大儀ヲこせしムヘシトナリ圖ナケレハ詳ニ知レカタシトゝ叔卿エ走せ七日曇ニ依リ南北モ時刻ニ知ルナリ其製ハ何ノ下モナク天ヲ逆ニシタル物ニテ其中ニ北極モ黄道赤道モ天ノ下ニ備レリ其時刻ヲ見ルニハ一ケ所日影ノ通シケル処アリテ黄道赤道時刻ナト ノ筋ヘ當リケルヲ二十四氣ニヨッテ東西南北時刻ホ分リケルトナリ

一叔卿ノ師ナリシ片岡氏エ夫ノ日曇四品アリ其中一ツ昼夜トモ用ヒ日曇アリ夜ハ星ヲ以テ時刻ヲ知ルナリ其星ニ別ノ習モナシ二三里星ヲシリテ後其星ヲ目當ニ測リタルユヘ天文ヲ知サル人モ用ラルトナリ

一叔卿云近年腰間ニ帯テ里数ヲシル器ハ理方ハ好ケレトモアマリ通ノ用ニ立スソレユヘ又工夫ヲ加シ人アリテ余ホト宜クナリタレトモ全備せス叔卿京師遊学ノ中ニ製法ヲ替ヘテ圖方ノ器ノ造リ行程儀ト名ヲ付オキスト也

文會雜記巻之三終